

はじめに

この冊子は、狭山市立博物館での教育普及事業(学校連携事業)について、学校教育に携わる先生方のためのガイドブックです。当館では、学校教育との連携・活用が今後の博物館にとって重要と考え、毎年、小学校の社会科見学、中学校職場体験、大学生等の学芸員実習を積極的に受け入れています。そうした取り組みのひとつとして今回、この手引きを作成しました。

博物館では、授業に役立つ学習素材、児童生徒向けの事業、そして先生方が博物館に親しみ、自らの教材研究の参考となる事業を多数実施しています。冊子の前半は社会科見学や職場体験等の申込みから実施までの過程と当館で行っている教育普及事業について紹介しています。後半は、先生方や児童生徒の皆さんが活用できる指導資料について掲載してあります。

博物館は、各先生方の取り組みにより、いろいろな可能性が含まれており、新たな発見の場でもあります。この手引書がきっかけとなり、学校と博物館との連携が一層深まり、児童生徒の心豊かな教育を実践していくための一助となれば幸いです。

令和5年7月 狭山市立博物館

目 次

1. 博学連携について	
(1) 博学連携・博物館学習とは	1
(2) 狭山立博物館の教育普及事業	2
(3) 狭山市立博物館の博学連携(教育普及)の取り組み	
ア 博物館に児童生徒を連れていく 小中学校等社会科見学	4
① 申し込みの流れ	
② 見学の流れ	
③ 見学コースの決め方	
④ 見学コースの例	
⑤ 事前指導のお願い	
⑥ 小学校社会科見学アンケート	
イ 博物館の仕事を生徒が体験する 中学校職場体験学習	16
① 博物館での職場体験で学ぶこと	
② 具体的な体験内容	
③ 活動日の詳細	
④ 申し込みから実施まで	
⑤ 活動日のタイムテーブル	
ウ 博物館の人を使ってみる アウトリーチ	19
出前講座 アウトリーチ	
・縄文時代の暮らし、火起こし体験	
・野外体験講座、化石さがし隊	
・奈良、平安時代の暮らし 竪穴住居を建てよう	
エ 先生方が博物館を楽しんでみる 教育普及事業	21
① 生涯学習セミナー さやはくフォーラム	
② 常設展ガイドツアー	
③ 歴史文化講座	
④ 古文書読解講座	
⑤ さやはく音楽会	
⑥ 茶道体験講座「お茶席」	
⑦ 狭山ふるさと検定、さやマスターズ検定	
⑧ 童句コンクール	
⑨ 企画展での特別講座	
オ ホーム・ページの活用 動画投稿サイト	26

2. 指導資料

(1) 館内案内	28
(2) 常設展示の基本構想・配置図	29
(3) 常設展示室 学習素材一覧	30
(4) 小学校学習指導要領と副読本、博物館資料との関連	32
(5) 小学校社会科見学 主な指導資料	40
ア 昔の暮らし	プラン A 指導資料 ワークシート
イ アケボノゾウとメタセコイア	プラン B 指導資料 ワークシート
ウ 郷土の伝統・文化と先人たち	プラン G 指導資料 ワークシート
(6) 出前講座	
縄文時代の生活 火起こし体験	59
(7) 童句コンクール指導資料・童句のつくりかた	62
(8) さやはく学習リーフレット 博物館で働く人 学芸員とは?	63
	中学校職場体験生徒用資料

参考文献等

1 博学連携について

(1)博学連携・博物館学習とは

博学連携は、博物館と学校がそれぞれの教育機能を活かして連携・協力し、よりよい形で子供たちの教育を推し進めていく取り組みです。学校と社会教育との連携(学社融合)は、「開かれた学校」の理念のもと、かねてから提言されていましたが、教育基本法の改正や学習指導要領の改訂により博学連携の使命がより明確に示されました。

令和 2 年(2020) から実施された学習指導要領では「社会に開かれた教育課程」の理念が以下のように示されました。

「教育課程を通して、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会が共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、社会に開かれた教育課程の実現が重要となる」ⁱ

また「総則」では、「地域の図書館や博物館、美術館、劇場、音楽堂等の施設の活用を積極的に図り、資料を活用した情報の収集や鑑賞等の学習活動を充実させること」ⁱⁱと示されました。

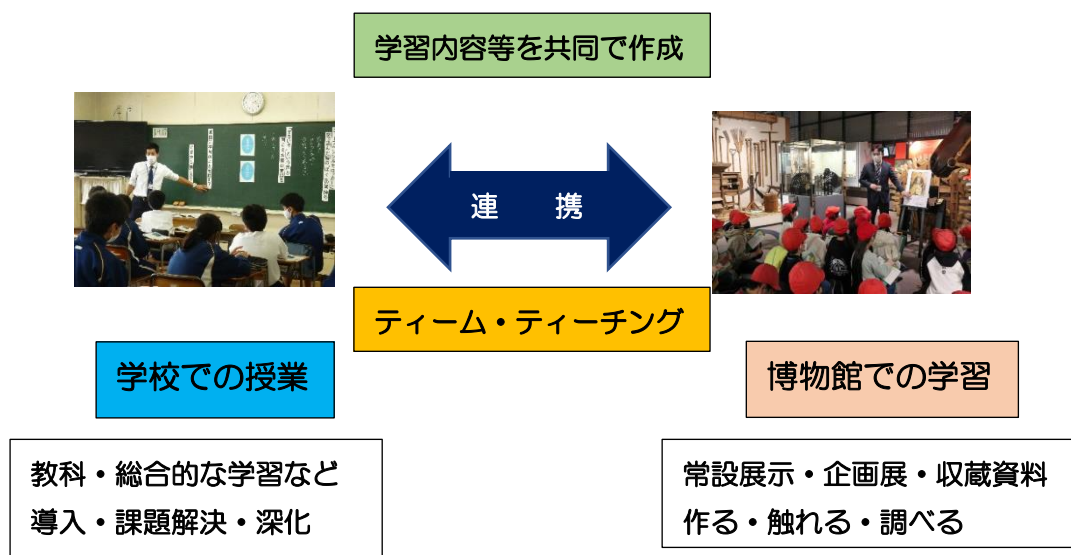
これまで、博物館を見学する機会は、学校行事や総合的な学習の時間等で取り上げられましたが、学校と博物館側との連携が十分にとれないままに行われてきたこともあり、博物館のもつ豊富な情報や教育的な資源、価値が学校教育の中に十分に生かしきれなかったこともありました。

昨今、各社会教育施設では、子供を対象とした教育普及事業を展開しており、司書や学芸員等の専門職の下、子供たちの興味・関心、知的好奇心を助長する取り組みが行われています。これらの取り組みは、現行の学習指導要領の、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善を図る上でも大変効果的です。また学校教育を充実させるだけでなく、生涯学習の視点からも博物館を生涯にわたって利用しようとする意欲や態度、能力の基礎を培う意味でも博学連携の取り組みはきわめて重要となってきました。

埼玉県では、博物館・美術館等と学校との連携による学び「博物館・美術館等を活用した子供パワーアップ事業」を行っています。この事業は、前掲の学習指導要領等の趣旨により、児童生徒の学びの場や内容を広げ、歴史や文化に対する理解を一層深めることと博物館・美術館等を生涯にわたり活用し、学び続けるための基礎を身に付けるものです。これらの取り組みは、県内の施設と学校とが融合し、「社会に開かれた教育課程」の具現化の一助となっています。

博学連携の最終的なねらいは、先人たちの築き上げた文化遺産を振り返り、感動

することでその後の生き方を豊かにするものであり、我が国の伝統文化や郷土を愛する心を育て生涯学習の基礎を培うものです。さらには学校を核とした地域の教育体制が進み、地域の大人と子供が学び合い、地域のコミュニティーが活性されることも期待できます。



(2) 狭山市立博物館の教育普及事業

狭山市立博物館は、開館以来、生涯学習の学びの場として幅広い年齢層を対象とした様々な展覧会や講座を開催してきました。学校教育との連携においても小中学校の社会科見学や中学校職場体験、各団体や年齢層に合わせた出前講座、そして将来学芸員をめざす学生等を対象とした学芸員実習などを積極的に受け入れてきました。

博物館は、その使命を達成するために必要な教育普及活動を計画的に実施するとともに幅広い年齢層の方々に知的好奇心や楽しみを分かち合う場を提供し、生涯にわたって自発的な学習を支援することが求められています。

また市民の皆様が自国の伝統と文化や郷土の歴史、風土を知ることによって郷土愛を育み、郷土に誇りをもていただくことが私たちの願いです。

次ページには、現在実施されている当館の事業を掲載しています。この他にも教育委員会社会教育課事業「狭山市生涯学習まちづくり出前講座」において、学芸員が講師となつての出前講座も行っていますのでご活用ください。

現在、当館での教育普及事業は以下のとおりです。

学校教育に係わる教育普及

小中学校等社会科見学・遠足

中学校職場体験

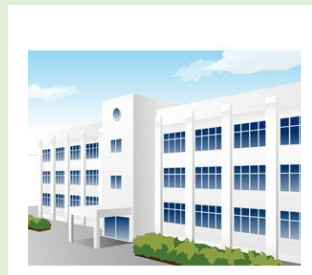
出前授業

まいまい体験講座

童句コンクール

さやまstars検定

学芸員実習



博物館の物的活用

常設展示物資料・文化財収蔵品資料

研究文献等資料

博物館の人的活用

学芸員・研究

社会教育(生涯学習)に係る教育普及



常設展ガイドツアー

さやはくフォーラム

歴史文化講座 古文書読解講座

狭山ふるさと検定

企画展による講座

常設展クイズラリー

茶道体験講座「お茶席」

出前講座

(3) 狭山市立博物館の博学連携(教育普及)の取り組み

ア 博物館に児童生徒を連れていく 小中学校等社会科見学

申し込みから実施まで

当館では、幼稚園、保育園、小中学校等、社会科見学を積極的に受け入れています。見学は、学芸員による解説付きの見学と自由見学の2パターンがあります。人数が多い場合は、見学コースを2カ所同時に設定することも可能です。コースは、当館が設定したコースもありますが、ご希望の内容等も可能ですので申し込み時にご相談ください。

① 申し込みの流れ 申し込みから 実施まで

手順 1

まずは電話でお申し込みを

TEL 04-2955-3804

次のことを確認します。

- ① 学校名 ② 見学日時(候補日を何日かご提示ください) ③ 学年・学級数・参加人数
- ④ 学校の電話番号 ⑤ 担当者の名前 ⑥ 来館交通手段
- ⑦ 事前打ち合わせの日時(候補日を何日かご提示ください)
- ⑧ 事前打ち合わせシート(P6)をFAX 04-2955-3811 で送る。

※下見の所用時間は、約 60 分かかります。17:00 閉館ですので余裕をもってご来館ください。



手順 2

博物館にて事前の打合せ

下見を兼ねて、先生にご来館いただき事前の打ち合わせをお願いしています。当日のスケジュールをお聞きして、展示室を見ながら当日の学習内容を話し合います。

また入館料免除申請、施設使用許可申請(必要に応じて)のご記入、ご提出をお願いしています。申請によって引率される先生方の入館料が免除になります。



手順 3

当日の利用

当日は安心してご来館ください。学芸員が児童生徒のみなさんや先生方の学習をサポートします。なお今後の事業の参考にするため引率の先生方にアンケートのご協力をお願いします。アンケートは後日、博物館へ FAX でお送りください。

入館料免除申請の記入方法

申請者記入 学校・幼稚園等、代表者は校長名・園長名にしてください。印は不要です。

様式第1号（第3条関係）

入館料免除申請書

年 月 日

狭山市教育委員会 様

(〒)

申請者 所在地
団体名
代表者
電話番号

()

次のおり、入館料の免除を受けたいので申請します。

電話番号は緊急の連絡が取れる携帯電話も記入してください。

入館年月日	年 月 日 (曜日) 午前・午後 時 分 ~ 午前・午後 時 分
入館人員	児童・生徒 人 引率者 人 その他 人 計 人
引率責任者	電話番号 ()
免除申請の理由	理由は、見学のため、学習のため、園外保育等
学年	交通機関

博物館使用欄

免 / 1・2 解 / 有・無

交通機関は、公共交通機関をご利用ください。
バス等で駐車場を利用する場合は、県営狭山稲荷山公園管理事務所に問い合わせください。
Tel 04-2955-3228

事前打ち合わせ

事前打ち合わせシート このシートを記入して打ち合わせ時にご来館ください。

学校名			学年・組 人 数	年 組 名
学校長名			学 校 電話番号	
実施日	年 月 日()		時 間	
引率責任者 引率職員数	(名)		電話番号 (携帯)	
交通手段	徒歩 バス 電車			
当日の日程	学校発	時 分	博物館到着予定	時 分
	ガイドンス	時 分	終了予定解散	時 分
見学予定 時 間	時 間	見学コース		
		組	組	組
	時 分			
	時 分			
ワークシート の使用有無	有 無	タブレット使用	有 無	
学芸員解説内容 ※児童生徒への説明で特にお願いしたい内容をご記入ください				

② 見学の流れ

ガイダンス 研修講義室
博物館見学の前に、子供向けに館の概要や展示の見どころ、見学マナーについてお話します。

所要時間 10 分

荷物置き・トイレ・飲み物可能

※見学マナーは学校での事前学習用のシートを用意しました。事前に指導していただけたら幸いです。



展示室にて学芸員による解説（所要時間 40分～50分 2種類の解説が可能）



あいさつ・解散

研修講義室

5分程度

学芸員の解説を必要としない自由見学の場合

遠足等で当館を来館する場合、自由見学も受け入れています。日時や人数によっては一度に受入れが出来ない場合がありますので、来館日については事前に博物館までお問い合わせください。また入館料免除申請をすることによって引率の先生方の入館料が免除になります。申請書は、事前にご提出をお願いします。

また展示室やトイレ等、館内の配置について引率の先生方に確認していただくために引率の先生方に下見をお願いします。なお下見の時は、先生方の入館料を免除しますので遠慮なくお申し出ください。水筒やリュック等の手荷物を持つての見学はお断りしています。荷物置場として部屋をご希望の場合は許可申請の手続きを行ってください。

③ 見学のコース決め方について

見学コースは、3つのパターンを用意しました。各学校の実状に合わせて打ち合わせ時にご相談ください。

1 当館モデルコースによる見学

モデルコースを用意しました。学年は、学習指導要領に基づき指定してありますが、各学校の実状によって変更は可能です。

2 副読本「わたしたちのまちさやま」に準拠したコース

3 先生方のリクエストによるコース

児童生徒の興味・関心や学校の実状に合わせたコースも可能です。

【見学例 1】

社会科見学 20××年○月○日(火) 13:00～14:30

駐車場は公園管理事務所へ

〇〇市立〇〇小学校3年生 78名(引率4名) バス2台※駐車場予約

解説:・アケボノゾウ(30分)・昔のくらし(30分)・自由見学(25分)

時間	1班 (39名)	2班 (39名)
13:00	到着 (荷物はバス)	
	まいまいホール (見学解説)	
13:05	アケボノゾウ	昔のくらし
	担当: ○○	担当: △△
13:35	昔のくらし	アケボノゾウ
	担当: △△	担当: ○○
14:05	常設展自由見学	常設展自由見学
14:30	解散ロビー	

【見学例 2】

社会科見学 20××年○月○日(金) 9:50～11:20

企画展の見学

〇〇市立〇〇小3年生 99名(引率5名) 徒歩

解説:アケボノゾウ(25分)・昔のくらし(25分)・サバイバル展(25分)

時間	1組 (33名)	2組 (33名)	3組 (33名)
9:50	到着 (荷物は研修室)		
9:55	見学説明 (ゾウ前: 担当)	見学解説 (昔のくらし前: 補助)	見学解説 (企画前: ○○)
10:00	アケボノゾウ	昔のくらし	サバイバル展
	担当: ○○	担当: △△	担当: □□
10:25	昔のくらし	サバイバル展	アケボノゾウ
	担当: △△	担当: □□	担当: ○○
10:50	サバイバル展	アケボノゾウ	昔のくらし
	担当: □□	担当: ○○	担当: △△
11:15	解散研修室 (荷物)		

④ 見学コースの例

小学校社会科見学 モデルプラン 所要時間は1コース20分～30分
【3年生】

プランA 昔の暮らし

昭和初期(およそ100年前)の生活様式について民具の実物を用いて解説します。また昔の道具と現在の道具の比較や変遷について学びます。

副読本 3年生 P100～P103
身のまわりの古い道具



プランB アケボノゾウとメタセコイア

アケボノゾウ全身骨格レプリカ、化石産状レプリカやメタセコイア化石を用いて、150万年前の狭山がどのような場所であったか解説します。

※化石のレプリカにさわれます。



プランC 狭山の名物「狭山茶」

狭山茶についての歴史や茶を製品にするまでなど、常設展の展示やパネルを用いて解説します。

副読本 3年生 P50～P53



プランD 狭山の学校のうつりかわり

明治時代から現代までの狭山市の学校のうつりかわりや教科書の変遷について学びます。

副読本 3年生 P98～P99



【4 年生】

プランE 狭山市に残っている古い建物

狭山市に残っている古い建物や昔の様子を伝えるものについて常設展の模型やパネルを用いて解説します。

副読本 4 年生 P 58～63



プランF 昔から続いている行事

七夕まつりをはじめ、市内に伝わる伝統行事について展示やパネルを用いて解説します。

副読本 4 年生 P 64～67

プランG 郷土の伝統・文化と先人たち

清水宗徳の功績を狭山の各地地場産業を交えて解説します。

副読本 4 年生 地域の発展につくす
P79～83



【5.6 年生】

プランH 縄文時代

狭山市内で発掘された縄文土器の実物や展示物のジオラマを用いて、5000年前の狭山の人々について解説します。

※縄文土器の実物にさわれます。

教科書「新しい社会6」P8～P11

関連教材 火起こし体験



【全学年】

プランⅠ 企画展

当館では、春夏秋冬の年4回、企画展を開催しています。開催中は、常設展の案内に加えて希望する学校に解説します。

過去の企画展 令和3年夏「恐竜展」

令和4年夏「狭山 de 妖怪展」

令和4年秋「富田伊織作品展

新世界 透明標本」



その他 「わたしたちのまち さやま」に準拠したその他の指導事例

●狭山市のうつりかわり 副読本 3 年生 P86～P97

●水野の新田開発 副読本 4 年生 P68～P78

その他

●狭山の戦争中のできごと

●狭山の動植物について

●清水義高と影隠し地藏

⑤ 事前指導のお願い

博物館での学習は、展示品を見て、新しい発見や感動を通して児童生徒の知的好奇心を助長させる体験学習の一つです。また将来、博物館や美術館に行き、楽しむためのマナーを学ぶところです。

社会科見学時は、一般の方も来館しています。公衆道徳を学ぶ上でもよい機会となりますので学校では来館する前に、博物館をたのしむルールについての事前指導をお願いします。

博物館に行く前の事前学習でご活用ください。

狭山市立博物館へようこそ!

さやましりつはくぶつかん じょうせつてんじしつ げんしじだい げんだい さやま あゆ
狭山市立博物館の常設展示室は、原始時代から現代までの狭山の歩みをタ

イムトンネルのように^{てんじ}展示しています。

博物館をたのしむルール

^{てんじぶつ}展示物は、むかしから^{たいせつ}大切に^う受け継^つがれてきたみんなのたからものです。

たくさんの方がきもちよく見学できるように、ルールを守りましょう。

◆^{かんない}館内では、^{はし}走らないようにしましょう。

◆^{かんない}館内では、大きな^{こえ}声を出さないようにしましょう。

◆展示してあるものやケース、^{けいじぶつ}揭示物や^{かざ}飾りはさわらないでね。

◆メモをとるときはえんぴつを使いましょう。

^{かべ}壁やケースを^{だい}台にしないでね。

◆館内では、決められた^{ばしょいがい}場所以外、^た食べたり^の飲んだりしてはいけません。

◆^{かさ}傘や大きな^{にもつ}荷物^は展示室には持って入れません。決められた^{ばしょ}場所に^お置いてか
^{はい}ら入りましょう。

◆^{しゃしん}写真は^と撮ってもいい^{ばしょ}場所と、いけない場所があります。撮るときは^{かかり}係の人
や先生に^{かくにん}確認しましょう。

⑥ 小中学校等社会科見学アンケート

この度は小中学校等社会科見学到狭山市立博物館をご利用頂きありがとうございました。本アンケートは今後の事業運営の参考として教職員の皆様を対象に調査を行っているものです。ご協力よろしくお願いします。

問1. 所属の学校名と担当学年を教えてください。

() 学校 () 年

問2. 利用した解説の内容を教えてください。(複数回答可)

- 1 アケボノゾウ 2 縄文時代 3 昔の暮らし 4 清水宗徳
5 狭山の産業(お茶・養蚕・馬車鉄道) 6 狭山台の水(縄文～新田開発)
7 その他()

問3. 狭山市立博物館を社会科見学到利用した理由を教えてください。(複数回答可)

- 1 担当学年が3～4年の時は、毎回利用したいと思っている
2 担当学年が3～4年の時は、時々利用するようにしている
3 利用ははじめてだが、同僚に勧められたから
4 博物館利用は学校で決められていたから
5 博物館の立地が見学到に適當であったから
6 近くに他施設があり、併用を考えていたから
(併用施設:)
7 自ら新規開拓して見つけたから
(主なきっかけ:)

問4. 今回の社会科見学の感想をお聞かせください

1. 社会科見学の解説内容について

- 1 大変充実していた 2 充実していた 3 どちらでもない
4 やや不十分であった 5 不十分であった

2. 社会科見学と学校の授業との関連性

- 1 学校の授業と関連付けられ、それを補うものであった
- 2 学校の授業と関連していたが、授業内容とは異なる内容であった
- 3 学校の授業とは関連ないが、教科書や副読本には掲載されている内容であった
- 4 学校の授業とは特に関連はなかった
- 5 その他（ ）

3. 社会科見学の解説員について

- 1 児童にも解りやすく丁寧に解説していた
- 2 丁寧に解説していたが、児童には分かりづらいつ感じた
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり丁寧な解説ではなかった
- 5 丁寧な解説ではなかった

4. 社会科見学中の進行・段取りについて

- 1 進行はスムーズであった
- 2 進行は比較的スムーズであった
- 3 どちらともいえない
- 4 進行はあまりスムーズではなかった
- 5 進行はスムーズではなかった

5. 事前に行った博物館に来館しての打ち合わせの有効性に関して

- 1 事前打ち合わせは有効であり、必要なものだ
- 2 事前打ち合わせは有効であるが、必要とは言い切れない
- 3 どちらともいえない
- 4 事前打ち合わせは有効でなかったが、必要と感じた
- 3 事前打ち合わせは必要ない

6. 社会科見学全体を通して

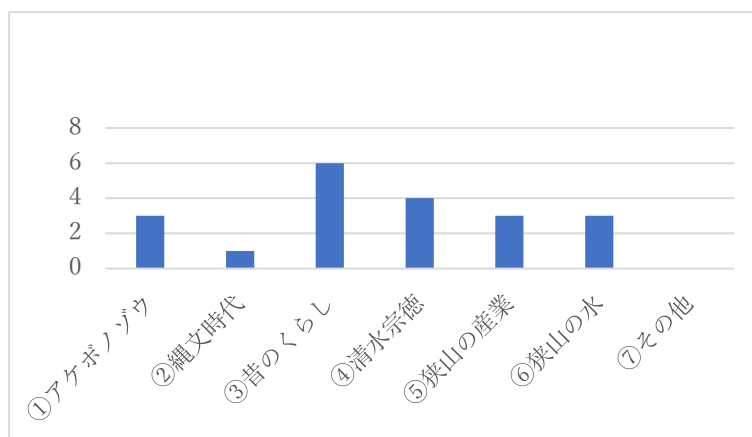
- 1 大変満足している 2 満足している 3 どちらでもない
- 4 やや不満である 5 不満である

問5. その他、社会科見学への感想や要望、今後行ってほしい解説などありましたらお書きください。

以上になります。ご協力ありがとうございました。

先生方からのアンケートから

【利用した解説内容】



【先生方からの声】

- ・今年度も大変満足できる内容でした。短い時間の中、丁寧にご説明頂きありがとうございます。博物館のみなさまに感謝を申し上げます。
- ・このような機会を設定していただきありがとうございました。博物館に行ったことはありますがじっくりと見学したことは初めてだったと言って喜んでいました。
- ・2つのグループにわけての全体のお話もとても興味深く子供たちも聞いていました。全体で回ったとき小グループに分かれての自由行動は可能でしょうか。初めて来館した子も多く、他の展示も見たそうでした。
- ・3年生の時も見学させていただきましたが今回は4年生学習内容に合わせて説明をしていただき子供たちもとても勉強になりました。事前の打ち合わせから丁寧に対応させていただき担任どちらも初めての見学でしたがしっかりと当日の流れをイメージすることができました。また来年度もよろしくお願いいたします。
- ・教科書の内容を学習してまとめとしてとてもよい学習ができました。学習したことを深められました。詳しくわかりやすく説明していただきありがとうございました。
- ・小学生用のパネルがあると興味を持ちやすい。順路が視覚的にわかると班活動や自由見学で迷わずすむ。解説は大変児童の関心を抱かせた。実物を用いて演示してくださったのでわかりやすかった。質問しやすい雰囲気づくりにしていただいた。3日間続けての日程であったが配慮いただき、3日とも学芸員さんがついてくれてありがたかった。時間配分について1日目は企画展を見る時間が不足したとのことで2日目以降、調整をいただきありがたかった。

イ 博物館の仕事を生徒が体験する

中学校職場体験学習

① 博物館での職場体験で学ぶこと

- ・博物館の仕事を通して望ましい勤労観や職業観を身に付けます。
- ・色々な世代のお客様(異世代間)とのコミュニケーション能力の向上を図ります。
- ・博物館の展示品を通して実地的な知識を学びます。
- ・社会的なルールやマナーを身に付けます。
- ・博物館に対する理解を深め、地元狭山への愛着や誇りを持たせます。

② 具体的な体験内容

・館内見学

学芸員の話聞き、博物館の展示物等やバックヤードを見学して博物館施設について学びます。

・受付体験

接客についてのルールとマナーを体験します。

・社会科見学対応補助

実際に学芸員の仕事の補助をして体験します。

・常設展示の理解

学芸員の説明を聞いて、展示品についての勉強をし、郷土狭山について学びます。

・クイズラリー用クイズ作成

常設展示を理解したら実際に展示物のクイズを作成してみます。(作成したクイズは後日、実際に使用します)

③ 活動日の詳細

- ・出退勤時間 出勤 午前9時 退勤 午後3時30分
- ・出勤場所 狭山市立博物館
- ・出勤方法 公共交通機関(狭山市駅から稲荷山公園駅行きのバスがあります)
または自転車(自転車置き場は、博物館前の自転車駅場に駐輪)
- ・持ち物 筆記用具、日誌、弁当、水筒、その他
- ・服装 制服 作業により体操着
- ・欠席の連絡 体調不良等で欠席する場合は必ず連絡してください。

TEL 04-2955-3804

④ 申し込みから実施まで

申し込み 学校からの協力依頼
博物館に電話でお申し込みください。

① 体験日 ② 人数(4名まで)

※月曜日は休館日

**生徒による確認の
電話と打合せ日の
予約**
(博物館担当者にご連絡ください)

事前打ち合わせ
博物館で担当者と生徒が行います。

実施

(注)写真の掲載モデルは大学生の学芸員実習生です。



学芸員の展示解説を聞く



受付接客体験



バックヤードの見学



工作の試作・見本づくり



展示品の解説

博物館で働く人

学芸員 について紹介したシート
が資料編にありますので、ご活用
ください。

⑤ 活動日のタイムテーブル (例)

当日の博物館での催し物(イベント)によって内容が変わります。

事前打ち合わせ 14:00～			生徒数 4 名
日 付	時 間	実習タイトル	実習内容
1 日 目	9:00	集合・あいさつ	館長挨拶、紹介、説明
	9:15	館内案内	館内施設の案内と説明
	10:00	受付体験	受付スタッフと一緒に来館者対応を体験(受付・館内巡回・清掃・その他業務補助など)
	11:00	常設展解説体験①	常設展の学芸委員解説を体験&常設展示を予習
	12:00	昼食	
	13:00	工作体験	博物館の工作事業の体験と見本の作成
	15:00	日誌の記入	各自持参の日誌に記入
	15:30	解散	
2 日 目	9:00	集合	本日の業務連絡
	9:15	学芸業務補助	学芸員の業務の手伝い
	10:00	社会科見学補助	社会科見学誘導補助(A 小学校 3 年生)
	12:00	昼食	
	13:00	バックヤード見学	設備担当者によるバックヤードの説明
	14:00	常設展解説体験②	展示解説を生徒たちが行う
	15:00	日誌の記入	各自持参の日誌に記入
	15:30	解散	
3 日 目	9:00	集合	本日の業務連絡
	9:15	クイズ作成	小学生向けのクイズ問題を作成(原稿製作・写真撮影等)
	10:00	社会科見学	社会科見学誘導補助(B 小学校 3 年生)
	12:00	昼食	工作室
	13:00	クイズ作成	小学生向けのクイズ問題を作成(原稿製作・写真撮影等)
	15:00	日誌の記入	各自持参の日誌に記入
	15:30	解散	



ウ 博物館の人を使ってみる 出前講座 (アウトリーチ)

当館では学芸員が学校や公民館、史跡文化財等に出向いてアウトリーチ(出前講座・授業)を行っています。また狭山市教育委員会 社会教育課「狭山市生涯学習まちづくり出前講座」 同 教育指導課「狭山市地域の学び推進事業」の事業として社会教育と学校教育の連携推進を行っています。

※「狭山市生涯学習まちづくり出前講座」は、行政情報を積極的に提供し、開かれた市政を目指すとともに、市民と行政が一体となってまちづくりを進めることを目的に実施しているものです。

※「狭山市地域の学び推進事業」は、学校外の学習機会(市内の公民館、児童館、集会所、博物館、市役所各課、教育センター主催事業等)を積極的に活用し、学校外における多様な学びに参加する事業です。

実践事例【縄文時代の暮らし・火起こし体験】 対象 小学生 参加費 無料
舞ギリ式発火具による火起こしを体験することで、縄文土器や須恵器などの使い方を考え、縄文時代の人々の暮らしぶりを身近に感じるきっかけとします。

1 体験できる人数

・道具等の関係で、一回に行う人数の上限は人までです。3～4人位で1グループとします。

2 時間

・説明を含めて 90 分ですが、状況によってご相談ください。

3 その他

・服装は、動きやすく汚れても構わないものがよいです。

・髪の長い児童は、ゴムやヘアピンで髪をまとめられるとよいです。



実践事例【野外体験講座・化石さがし隊】

対象 小学生以上 参加費(保険料・資料代等)

入間川河川敷でのフィールド・ワークです。アケボノゾウやメタセコイアの化石を探しながら化石の出来方や200万年前という太古の狭山の自然環境を解説します。

当館では毎年1月に「狭山化石さがし隊」というイベントを行っています。学校の授業やクラブ活動等でも受け入れをしています。

当日の日程 例

1 時間(正味 2 時間は必要)

9:30 集合 西武池袋線元加治駅改札前集合

徒歩移動

河川敷に到着後、説明

その後 野外観察 収集

12:00 終了 (12:30 仏子駅 解散)

2 服装・持ち物

服装・長袖長ズボン、長靴、手袋(軍手)等

持ち物・リュック、雨具、飲み物、タオル

筆記用具、メモ帳、ルーペなど



実践事例 【奈良・平安時代の暮らし、竪穴住居を建てよう】

対象 小学生高学年以上 参加費(保険料・資料代等)

奈良・平安時代の住居と言えば「あおによし・・・」の瓦葺きの壮麗な寺院と共に整然と建ち並ぶ唐風の住居群を、平安時代と言えば「此の世をば・・・」の藤原道長が住んだ土御門殿をはじめとした、寝殿造りの華やかな都の家々が思い浮かびます。しかし、市内で発見される奈良・平安時代の住居のほとんどは、まだまだワイルドな竪穴住居でした。辺境となる当地域は、耕作や資源採取を主体とする開拓地域であったため、高価な材料を使わず、造りやすく、使いやすい半分住居、半分作業場のような家でした。この実践事例では、当地域の奈良・平安時代の日々の生活について解説した後、竪穴住居の骨格模型を組み立てます。



参考プログラム

- (1) あいさつ
- (2) 解説：当地域における奈良・平安時代の人々の生活について
- (3) 解説：家づくりの道具の使用方法
- (4) 【体験】^{えぼし}烏帽子づくり（当時の身だしなみ）
- (5) 【体験】骨組模型づくり
- (6) 解説：住居の進化（空間確保の工夫の解説）

エ 先生方が博物館を楽しんでみる 教育普及事業

狭山市立博物館は、歴史、民俗、自然や美術など、様々な分野にわたる資料を数多く収集、保管、整理し常設展示や企画展示を通して多くの市民の皆様にご覧いただき、郷土の博物館として親しまれてきました。また展示だけではなく講演会や体験講座等も実施し市民の皆様の生涯学習の拠点としての役割を果たしています。

学校連携についても、毎年、市内外からの社会科見学をはじめとして児童生徒の学習の一助となるような事業を行っています。

先生方にとって、日頃から専門分野はもちろんのこと専門外のことについても研鑽を積むことは、ご自身の教養を広めることだけではなく、授業づくりのためにも役立つことと思います。

当館では、先生方がより博物館に興味・関心をもっていただくことと、郷土狭山市のよさを理解していただくために様々な講座を行っています。是非、先生方が楽しんでいただき、そこから得た知識や経験を児童生徒のために伝えていただけたら幸いです。

またいくつかの講座等は、狭山市教育委員会教育指導課所管の「地域の学び推奨事業」として行っています。

① さやはくフォーラム 参加費無料

「地域の学び推奨事業」

市民の皆さんが日ごろの研究活動や芸術活動の成果を発表する場として、生涯学習セミナー「さやはくフォーラム」を開催しています。フォーラムでの発表や受講をきっかけに、興味や交流を広げ、皆さんの生涯学習の拠点として博物館を利用いただけたらと考えています。内容は、科学、美術など多岐に渡る講座を開講しています。発表者については、年間を通して随時受付けていますが、発表の可否については当館学芸員が予め審査をして決定し、実施までのサポートをしていきます。



さやはくフォーラム 令和3年・4年に実施した主な内容

◇歴史講座「日本史から見た狭山史～第2回平安時代から室町時代～」

平安時代から室町時代という争いの時代について、地球規模の気候変動からの視点も織り交ぜながら紹介しました。

◇地質科学講座「武蔵野台地と地下水」

狭山市周辺の温泉や、関東地方の水溶性天然ガスなど、身近な地下資源について紹介し、武蔵野台地に焦点を当て、その成り立ち(地質)と地形や地下水との関連などについて解説しました。

◇西洋美術講座「子どもを描いた名画」

17世紀以前の西洋美術には、聖母子像に代表するような宗教画を除き、子どもを題材とした絵画は存在しませんでした。それが17世紀になってようやくひとりの人間として子どもが描かれ始め、その後の印象派によって開花しました。子どもの描いた名画に焦点を当てて、西洋美術の歴史について時代ごとの人々の価値観の変化について紹介しました。

② 常設展ガイドツアー 参加費 要入館料

「地域の学び推奨事業」

年2回、博物館ボランティア(さやまナビーズ)の皆さんが常設展のガイドツアーを行っています。毎回、ボランティアの皆さんがご自身で研究した成果を常設展示を活用して解説します。予めホームページやチラシで紹介します。事前の申し込みは不要です。

令和3年度 春のガイドツアーの内容

「狭山の地形と地質」 「狭山の縄文時代」 「縄文時代のそうだったのか」
「水車小屋と用水路」 「狭山市の鳥居と山門を常設展で巡る」 「日本茶のお話」
「関東を制覇した後北条氏と城山砦」 「昭和初期の生活用具と防災」
「入間川七夕まつりと入間川商店街」



③ 歴史文化講座 参加費有料

歴史文化講座は、狭山の歴史や文化を題材とした講座です。講師は、郷土の歴史や文化等に造詣の深い先生方です。

郷土狭山のことについて詳しく学びたい方はご参加ください。

実施した主な講座

- ・「学制」の発布から150年-明治時代の狭山の教育-
- ・「奈良・平安の狭山
-今宿遺跡、宮ノ越遺跡、鳥ノ上遺跡、揚樋木遺跡を中心として-



④ 古文書読解講座初級・中級 参加費有料

当館収蔵品である江戸時代の古文書を読み解きながら、崩し字の読み方を解説する古文書講座読解を開講しています。古文書を読みながら当時の生活様式や行政制度についても学べる講座です。春・夏に行われる初級コースと年間を通じて行われる中級コースがあります。

⑤ さやはく音楽会

参加費有料

音楽の歴史や楽器のお話など演奏を交えてのレクチャー・コンサートです。

- ・「ギターの調べ」 クラシックギターによる独奏
- ・「弦楽アンサンブル」
弦楽楽器による独奏やアンサンブル



⑥ 茶道体験講座「お茶席」 参加費有料

「地域の学び推奨事業」

博物館の茶室で行う、日本の伝統である「茶道」の体験講座です。お茶とお菓子を頂きながら、狭山市茶道連盟の先生が、お茶席の作法やお茶の点て方をわかりやすく説明します。



⑦ 狭山ふるさと検定・さやまスターズ検定 参加費有料「地域の学び推奨事業」

狭山市立博物館と狭山ふるさと会が協働して狭山市のご当地検定「さやまスターズ検定」(初級)「狭山ふるさと検定」(上級)を実施しています。狭山市域の歴史、文化、自然、風土、産業、観光など多岐に渡る分野の検定になっており、専用のテキストを勉強することで狭山の魅力を再発見できます。



⑧ 童句コンクール 参加費無料

「童句」とは、童話『かわいそうなぞう』で知られる狭山市ゆかりの童話作家、故土家由岐雄氏が創始した、児童文学としての俳句です。土家氏は童話や童謡のように、子どもの感性を育む文学として、子どもたちへ贈る俳句を「童句」と名付けて普及活動を始めました。このコンクールは毎年、全国から応募があり、当市の小中学校からも多数の応募があります。是非、国語科や総合的な学習の時間の授業として扱ってみてはどうでしょうか。



令和4年度 子どもの部 特選作品

終戦日 ラムネはじける 青い空

大分県大分市 小学四年 姫野 心泉

しゃばんだま おしえてくれるよ かぜのみち

埼玉県狭山市 小学一年 平沼 わこ

ひがん花 ばくはつしている ばちばちと

神奈川県相模原市 小学二年 斉藤 想和

入学式 真顔と笑顔が 交差する

埼玉県狭山市 小学一年 石井 健太郎

平和とは 花がたくさん さくことだ

大分県大分市 小学四年 松尾 彩希

⑨ 企画展での特別講座 参加費有料

「地域の学び推奨事業」

年4回行われる企画展では、講師の方による特別講座を開催することもあります。参加の場合は、事前の申し込みが必要です。

◇企画展「恐竜展」での特別講座

「化石レプリカをつくろう」

進化生物学研究所の先生方から化石のお話や石膏を用いての化石のレプリカを作成しました。



◇オーロラ展 ギャラリートーク

オーロラ写真展では、作者によるギャラリートークや写真撮影のレクチャー等が行われました。



◇私たちの災害サバイバル展

自衛隊による展示イベント、ロープワーク体験教室を行いました。



◇金山明博遊画展 お絵描き講座

絵の描き方の楽しさや子ども達に伝えるワークショップ。



◇富田伊織作品展

新世界『透明標本』

透明標本から学ぶ生き物の世界

(標本封入体験)ワークショップ

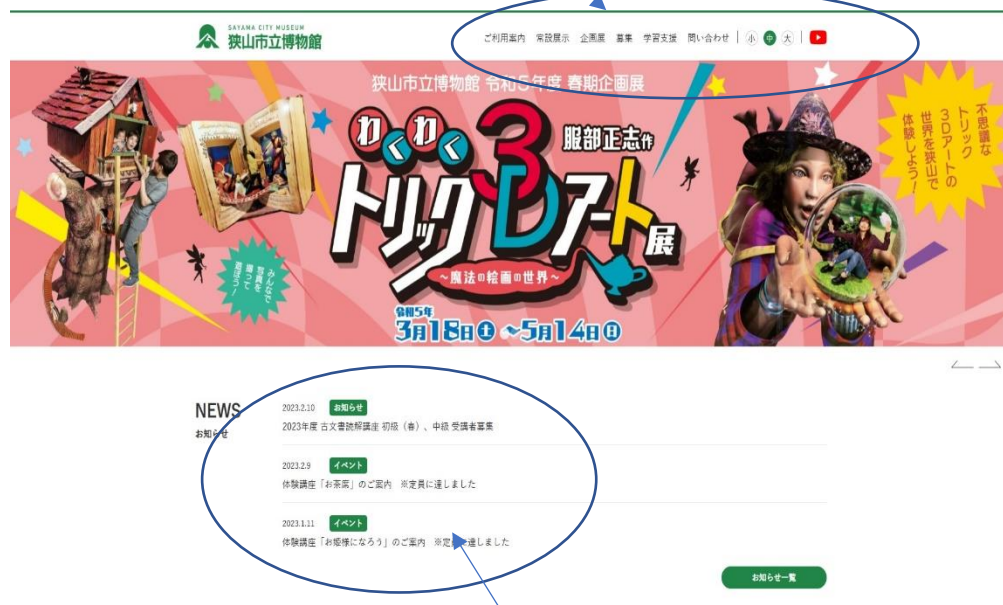
透明標本作家 富田伊織氏による子ども向けの透明標本解説や標本の封印ができるワークショップを行いました。



オ ホームページの活用

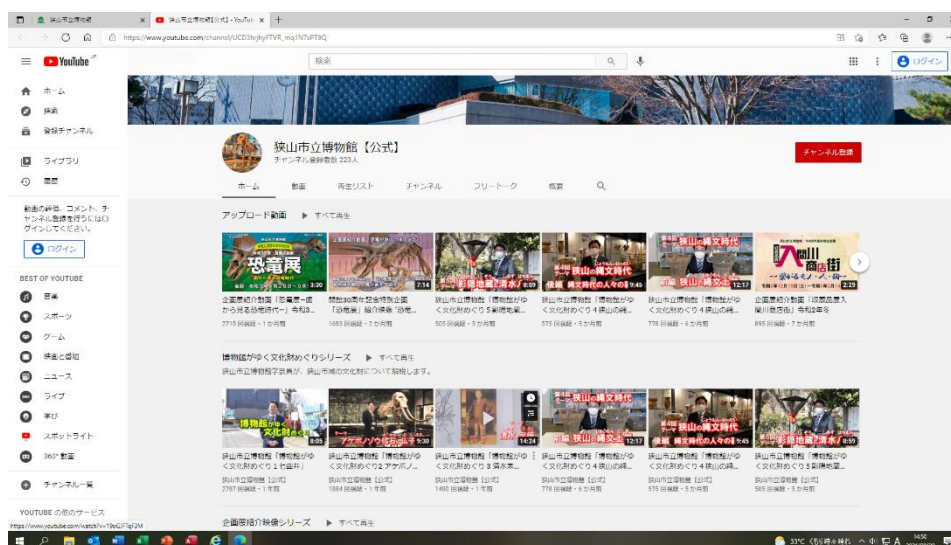
ホームページでは、最新の情報を随時更新しています。

「ご利用案内」「常設展示」「企画展」「募集」「学習支援」「問い合わせ」のコンテンツがあります。教育普及事業の案内は「募集」社会科見学等の案内は「学習支援」をご覧ください。



最新のご案内は「お知らせ」をご覧ください。

YouTube 動画投稿サイトでは、当館の公式動画を配信しています。
先生方の教材研究や児童生徒の授業等の調べ学習にご活用ください。



学習に役立つ YouTube 動画 コンテンツ

「博物館がゆく文化財めぐり」

各動画は、狭山市内の文化財等の紹介と解説。短い時間にまとめてありますので児童生徒の自主学習や先生方の教材研究にお役立てください。

- 1 七曲井
- 2 アケボノゾウ化石と仏子層
- 3 清水宗徳
- 4 狭山の縄文時代 前編 狭山の縄文土器
- 5 狭山の縄文時代 後編 縄文時代の人々の暮らし
- 6 影隠地蔵と清水八幡
- 7 狭山の新田開発 前編 水野の新田開発
- 8 狭山の新田開発 後編 狭山とその周辺の新田開発

「企画展紹介動画」

過去 2 年間に当館で行った企画展について展示品等を撮影して紹介しています。

- 1 収蔵品展「入間川商店街」 令和 2 年冬期・令和 3 年春期企画展
- 2 恐竜展-歯から見る恐竜時代 令和 3 年度夏期企画展
- 3 恐竜が狭山に来るまで 令和 3 年度夏期企画展
- 4 金山明博遊画展 令和 3 年度秋期企画展
- 5 金山明博雄遊画展 原画作成体験講座「火」 令和 3 年度秋期企画展
- 6 収蔵品展「狭山茶と狭山の食文化」 令和 3 年度冬期企画展
- 7 童絵作家 池原昭治展～残しておきたい狭山の風景～ 令和 4 年度春期企画展
- 8 狭山 de 妖怪展 令和 4 年度夏期企画展
- 9 富田伊織作品展 新世界 『透明標本』 令和 4 年度秋期企画展
- 10 拓くひとびとー狭山の奈良・平安ー 令和 4 年度冬期企画展

「その他」

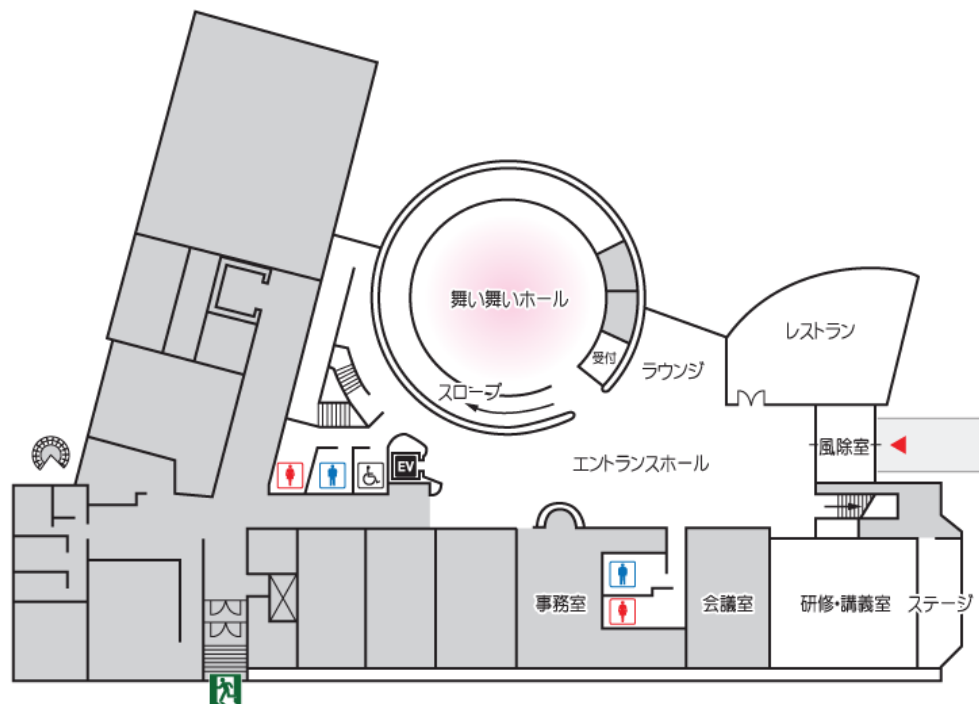
狭山市立博物館の開館から 30 年間のあゆみと各事業の紹介をしています。

- 1 狭山市立博物館開館 30 周年記念動画

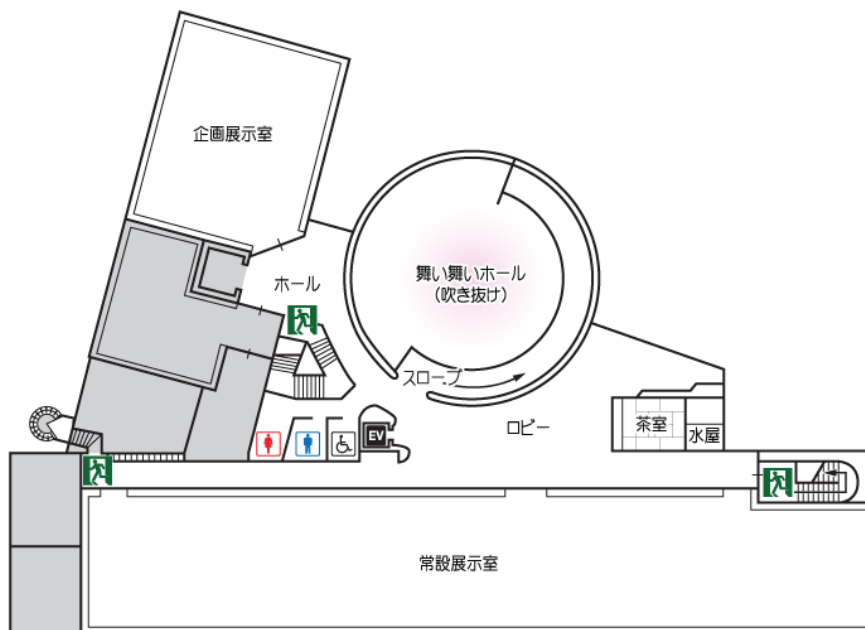
2 指導資料

(1) 館内案内

■狭山市立博物館 1Fフロア図



■狭山市立博物館 2Fフロア図



(3)常設展示室 学習素材一覧

主な展示資料	学習内容との関連
狭山の地形形成の歴史・生命の進化 アケボノゾウ化石産状復元模型 アケボノゾウ骨格標本	大地のつくりと変化(小学校 理科 6 年) 地層や化石から分かること(中学校理科 1 年) 生物の多様性と進化(中学校理科 3 年)
狭山の野生植物 智光山公園の昆虫・狭山の野鳥たち 入間川の水棲生物	生き物をさがそう チョウをそだてよう こん虫のかんさつ(小学校 理科 3 年) 身近な生物の観察(中学校理科 1 年)
狭山の人々が残した石器 縄文時代・狭山の人々が残した道具 縄文時代のすまいと生活 縄文時代の狭山の集落	縄文のむらから古墳のくにへ (小学校 社会 6 年) 旧石器時代と縄文時代の暮らし (中学校 社会 歴史)
弥生時代 稲作の本格化と大陸文化との遭遇・ 敷石のある住居跡 狭山の古墳	縄文のむらから古墳のくにへ (小学校 社会 6 年) 弥生時代の暮らしと邪馬台国 (中学校 社会 歴史)
大和朝廷の日本統一から平安時代まで 古代狭山びとの生活用具 奈良・平安時代の狭山の集落 和同開珎 富寿神宝 櫛 蔵骨器 七曲井 中世起立の寺社 板石塔婆(青石塔婆) 狭山の絵本 鎌倉時代から戦国時代へ 狭山の文化財 村境争論の図 柏原の鍛冶師と柏原の鋳物師 中世・入間川にまつわる武将たち 狭山出身の力士たち 戦国時代から江戸時代へ 天岑寺惣門 農村の自治組織(共同社会のしくみ) 新田開発 検地と年貢 村々の負担 御鷹場と助郷役	大和朝廷(大和政権)と国土の統一 (小学校 社会 6 年) 律令政治の成立と平城京 奈良時代の人々の暮らし (小学校 社会 6 年) 鎌倉幕府の成立と執権政治 産業の発達と民衆の生活 (小学校 社会 6 年) 近世の日本 農業や諸産業の発展 (小学校 社会 6 年) 新田開発の様子 (わたしたちのまちさやま 4 年生)

主な展示資料	学習内容との関連
明治維新 新しい時代の始まり 狭山の農家と屋敷 広福寺山門 村人の信仰	明治の国づくりを進めた人々 (小学校 社会 6 年) 残っている古い建物 (わたしたちのまちさやま 4 年)
狭山茶をつくる仕事 狭山茶をつくる仕事(手揉み製茶) 養蚕の仕事と道具 養蚕の仕事 製糸の仕事 狭山の斜子織	狭山の名物「狭山茶」 (わたしたちのまちさやま 3 年) 地域の発展につくす (わたしたちのまちさやま 4 年)
むかしの狭山の商業 むかしの農家の生活用具 脱穀の道具 農耕作業に使用された道具 農家の一年の仕事	身の回りのふるい道具 (わたしたちのまちさやま 3 年) 井戸を調べる 新田開発の様子 水野の畑のくふうと広がり (わたしたちのまちさやま 4 年)
狭山市の伝承芸能 狭山の祝膳 狭山市の伝統行事 狭山の七夕 狭山の水車 狭山の馬車鉄道 入間馬車鉄道 入間川の筏と渡船場 丸慶自動車と川越鉄道 太平洋戦争までの狭山 狭山市の誕生と市政のあゆみ 入間基地の移り変わり 狭山の工業 ふぁんたじっく狭山 狭山の学校教育の移り変わり 未来への展望	昔から続いている行事 狭山市の伝統行事 (わたしたちのまちさやま 4 年) 地域の発展につくす (わたしたちのまちさやま 4 年) 長く続いた戦争と人々の暮らし (小学校 社会 6 年) 狭山市のうつりかわり (わたしたちのまちさやま 3 年) 工場の仕事 (わたしたちのまちさやま 3 年) 公共施設のうつりかわり (わたしたちのまちさやま 3 年)

※学習内容の掲載教科書 「わたしたちのまちさやま」 令和 4 年 3 月 狭山市教育委員会
 小学校「新しい社会」 4～6 令和 3 年 2 月 東京書籍
 中学校「新編 新しい社会歴史」 令和 3 年 2 月 東京書籍
 小学校「わくわく理科」 令和 3 年 2 月 啓林館
 中学校「新編 新しい科学」 令和 3 年 2 月 東京書籍

(4)小学校社会科見学 学習指導要領と副読本、博物館資料との関連

ここでは現行の学習指導要領の目標、内容等と照らし合わせて博物館での学習との関連性を整理し、社会科見学等での目的や指導内容等がまとめてあります。

ア 学習指導要領改訂の趣旨

小学校社会科解説 P8

社会科見学、博物館に関する内容については次のように示されました。

- 教育環境の充実のために次のような条件整備が求められる。
- ・教科の内容に関係する専門家や関係諸機関等と円滑な連携・協働を図り，社会との関わりを意識して課題を追究したり解決したりする活動を充実させること
- ・博物館や資料館，図書館などの公共施設についても引き続き積極的に活用すること
- ・教員を対象とした研修の充実に努めること

イ 各学年の目標及び内容

[第3学年の内容]	学指要解説 小学校社会科 P13
○ 主として「歴史と人々の生活」に区分される内容 ・これまでの「<u>古くから残る暮らしにかかわる道具，それを使っていたころの暮らしの様子</u>」に関する内容を「<u>市の様子の移り変わり</u>」に関する内容に改め，交通や公共施設，土地利用や人口，生活の道具を調べるように示した。また，少子高齢化等による地域の変化を視野に入れて，内容の取扱いにおいて，『人口』を取り上げる際には，少子高齢化，国際化などに触れ」ることを示した。また，政治の働きへの関心を高めるようにすることを重視して，内容の取扱いにおいて，「市が公共施設の整備を進めてきたことを取り上げること。	
[第4学年の内容]	学指要解説 小学校社会科 P14
○ 主として「歴史と人々の生活」に区分される内容 ・県内の伝統や文化に関する内容については，内容の取扱いにおいて，「<u>県内の主な文化財や年中行事が大まかに分かるようにする</u>」ことを示した。 ・先人の働きに関する内容については，内容の取扱いにおいて，<u>これまでの「開発、教育、文化、産業など」に「医療」を加えた。</u>	
[第6学年の内容]	学指要解説 小学校社会科 P16
○「歴史と人々の生活」に区分される内容 ・第6学年の我が国の歴史学習においては，「世の中の様子、人々の働きや代表的な文化遺産などに着目して」調べることや，「我が国の歴史の展開を考えること、我が国が歩んできた「大まかな歴史」や「関連する先人の業績、優れた文化遺産」を理解することなど、小学校の歴史学習の趣旨を明示した。	

ウ 各学年 指導要領 目標及び内容

1 第3学年の目標	学指要解説 小学校社会科 P31
社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。 (1) <u>身近な地域や市区町村の地理的環境</u>，地域の安全を守るための諸活動や<u>地域の産業</u>と消費生活の様子，<u>地域の様子の移り変わり</u>について，<u>人々の生活との関連を踏まえて理解する</u>とともに，調査活動，地図帳や各種の具体的資料を通して，必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の特色や相互の関連，意味を考える力，社会に見られる課題を把握して，その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力，考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。 (3) 社会的事象について，主体的に学習の問題を解決しようとする態度や，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに，思考や理解を通して，<u>地域社会に対する誇りと愛情，地域社会の一員としての自覚を養う。</u>	
2 第3学年の内容	学指要解説 小学校社会科 P34 P37
(1) 身近な地域や市区町村（以下第2章第2節において「市」という。）の様子について，学習の問題を追究・解決する活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) <u>身近な地域や自分たちの市の様子を大まかに理解すること。</u> (イ) 観察・調査したり地図などの資料で調べたりして，白地図などにまとめること。 イ 次のような思考力，判断力，表現等を身に付けること。 (ア) 都道府県内における市の位置，市の地形や土地利用，交通の広がり，市役所など主な公共施設の場所と働き，<u>古くから残る建造物の分布などに着目</u>して，身近な地域や市の様子を捉え，場所による違いを考え，表現すること。	【内容の取扱い】 身近な地域や市に古くから残る神社、寺院、伝統的な家屋など伝統的なまち並みの位置や広がり 【狭山市副読本 「わたしたちのまちさやま」】 3年生 P22 23 課題 古い建物は、どのような様子でしょう。 天岑寺山門 広福寺山門 八幡神社 本殿 観音堂長門 浅間神社 【博物館常設展示】 28 35 42 ※3年生では、古い建物の様子と位置を地図で確認することにとどまっているが4年生では調べたことを発表する。

(2) 地域に見られる生産や販売の仕事について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (内容の取扱い) (1) 略 (2) 地域にみられる生産や販売の仕事について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) <u>生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解すること。</u> (イ) 販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解すること。 (ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) <u>仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現すること。</u> (イ) 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現すること	【内容の取扱い】 生産の仕事は、地域の人々の生活と密着なかわりを持っている 【狭山市副読本「わたしたちのまちさやま」】 3年生 P50～53 課題 なぜお茶づくりがさかんになったのでしょうか。 お茶づくりのくふうをしらべましょう。 お茶の葉はどのように製品になるのでしょうか。 【博物館常設展示】 44 45 ※生産の仕事については、養蚕の仕事から狭山の斜子織とその発展に貢献した清水宗徳についての関連(4学年) 【博物館常設展示】 46 47 48 49
--	--

1 第4学年の目標	学指要解説 小学校社会科 P48 P62
社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して次のとおり資質・能力を育成することを目指す。 (1) 自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動、<u>地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解する</u>とともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。 (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。	
2 第4学年の内容	学指要解説 小学校社会科 P62
(内容の取扱い) (1) (2) (3) 略 (4) <u>県内の伝統や文化、先人の働き</u>について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) <u>県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解すること。</u>	【内容の取扱い】 自分たちの住む県内の様々な場所で文化財や年中行事が受け継がれていること、それらは地域の歴史を伝えるものであることを基に、県内の伝統や文化について理解する。 【狭山市副読本「わたしたちのまちさやま」】 4年生 P58. 59 108 課題 地域にはどのような古いたてものが残っているでしょう。 ・ 広瀬神社 ・ 七曲井 ・ 八幡神社 ・ 今宿遺跡 ・ 影隠し地藏 ・ 観音堂長屋門 ・ 九頭竜大権現 ・ 大六天 ・ 生越道道標 ・ 庚申塔 ・ 天岑寺山門 ・ 富士浅間神社 ・ 化け地藏 ・ 弁財天

	課題 昔の様子を伝えるものにはどのようなものがあるでしょう。 家や学校の周りにはどのようなものがのこっているでしょう。 昔から続いている行事を調べてみましょう。 ・入間川七夕まつり ・甘酒祭り ・入曽のししまい ・広瀬の火祭り ・笹井の豊年足踊り ・柏原の十日夜 【博物館常設展示】 22 23 28 35 42 55 57 58
<u>(イ)地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解すること。</u>	【内容の取扱い】 ・開発、教育、医療、文化、産業などにおいて地域の発展に尽くした先人について、それらの先人は様々な苦心や努力を重ねて業績を成し遂げたことや、その苦心や努力が当時の人々の生活の向上や地域の発展に大きく貢献したことなどを基に、先人の働きについて理解することである。 ・県内の伝統や文化、先人の働きについて、博物館や資料館などを見学したり、昔と現在の市の地図や写真などの資料で調べたりして、年表にまとめることである。ここでは博物館や資料館などを見学して必要な情報を集める技能、地図や写真などの資料を結び付けながら情報を読み取る技能、調べたことを時間の経過に沿って年表などに整理する技能を身に付けることが大切である。 課題 ・水野の開発の様子をまとめてみましょう。

	【狭山市副読本「わたしたちのまちさやま」】 4年生 P79～83 清水宗徳について 課題 みんなの近くに、地域の発展につくした人にどのような人がいるでしょうか。 宗徳は、どのような人生を歩んだのでしょうか。 【博物館常設展示】 49 60 62 【狭山市副読本「わたしたちのまちさやま」】 4年生 P68～ きょう土を開く ※水野の開発について 課題 ・昔から残る井戸はどのようになっているでしょう。 ・きょう土にある開発のあとを調べに行ってみましょう。 ・畑の様子について気づいたことを話し合いましょう。
(ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。 イ次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 (ア) <u>歴史的背景や現在に至る経過，保存や継承のための取組などに着目して，県内の文化財や年中行事の様子を捉え，人々の願いや努力を考え，表現すること。</u> (イ) <u>当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して，地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え，先人の働きを考え，表現すること。</u>	【狭山市副読本「わたしたちのまちさやま」】 4年生 P66 課題 ・調べたことをもとにふるさと歴史マップをつくりましょう。 【狭山市副読本「わたしたちのまちさやま」】 4年生 P83 課題 ・学習したことを年表にしてまとめてみましょう。

第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 学指要解説 小学校社会科 P141	
2 内容の取扱いについての配慮事項 学指要解説 小学校社会科 P141 P144 ※ここでは、博物館社会科見学に係る内容について記載してあります。	
(1) 各学校においては、<u>地域の実態を生かし、児童が興味・関心をもって学習に取り組めるようにする</u>とともに、観察や見学、聞き取りなどの調査活動を含む具体的な体験を伴う学習やそれに基づく表現活動の一層の充実を図ること。また、社会的事象の特色や意味、社会に見られる課題などについて、多角的に考えたことや選択・判断したことを論理的に説明したり、立場や根拠を明確にして議論したりするなど言語活動に関わる学習を一層重視すること。	地域にある素材を教材化する 地域の学習活動の場を設ける 地域の人材を積極的に活用する 【内容の取扱い】 ・教師自身が各学校の置かれている<u>地域の実態把握に努め、地域に対する理解を深めるようにする。そして、地域の素材をどのように受け止め、地域の人々や施設などからどのような協力が得られるかについて明確にする必要</u>がある。それらを基に、地域の素材を教材化し、<u>地域の施設を積極的に活用</u>したり地域の人々と直接関わって学んだりする学習活動を位置付けた指導計画を作成することが大切である。
(3) <u>博物館や資料館などの施設の活用を図る</u>とともに、身近な地域及び国土の遺跡や文化財などについての調査活動を取り入れるようにすること。また、内容に関わる専門家や関係者、関係の諸機関との連携を図るようにすること。	近年、国や地方公共団体、企業などによって、博物館やその他の施設の整備が進められている。これらの諸施設を積極的に活用して、<u>社会科の見学や調査活動を行うことは、児童の意欲や学習効果を高める上で極めて重要なことである。</u>社会科の学習に活用できる博物館には、歴史博物館や郷土資料館のほか、例えば、魚や自動車などに関する博物館、水道、電気、ガス、原子力など資源・エネルギーに関する博物館、農業や漁業、林業、伝統的な工業などの地場産業に関する地域産業振興センターなど、多様なものがある。<u>地域にあるこれらの施設を積極的に活用することによって、児童の知的好奇心を高め、学習への動機付けや学習の深化を図ることができる。</u>

	ことができる。また，諸感覚を通して実物や本物に触れる感動を味わうことができる。学校での積極的な活用を通して，これらの施設を自ら進んで利用できるようになる。そのことは生涯に渡って活用する態度や能力の基礎となるものである 指導計画の作成に当たっては，<u>事前に施設，遺跡や文化財などの実情を把握するとともに，関係の機関や施設などとの連携を綿密にとることが大切である。その際，施設の学芸員や指導員などから話を聞いたり協力して教材研究を行ったり</u>して，指導計画を作成する手掛かりを得ることも一つの工夫である。
--	--

(5)小学校社会科見学 主な指導資料

ア 昔の暮らし プラン A

1 ねらい

昔の道具やそれらを使っていたころの暮らしの様子について調べ、人々の生活の様子が道具とともに移り変わってきたことや、人々の暮らしの知恵や工夫、願いについてとらえることができるようにする。

2 副読本「わたしたちのまち さやま」の単元

身のまわりの古い道具 3年生 P100～101

3 学習内容

- (1) 昔の道具と今の道具とのちがいをくらべてみる。
- (2) 道具と暮らしのうつりかわりについて年表等にまとめる。
- (3) 古い道具が使われていたころの暮らしの様子をしらべてみる。
- (4) 養蚕について知る。

4 博物館での学習

- (1) 博物館にある昔の家の様子や道具等に関心をもち、現代の家や道具との違いについて知る。
- (2) 昔の道具やそれらを使っていた頃の生活について、展示品や学芸員の話聞き、ワークシート等にまとめる。

5 博物館の資料【常設展示】

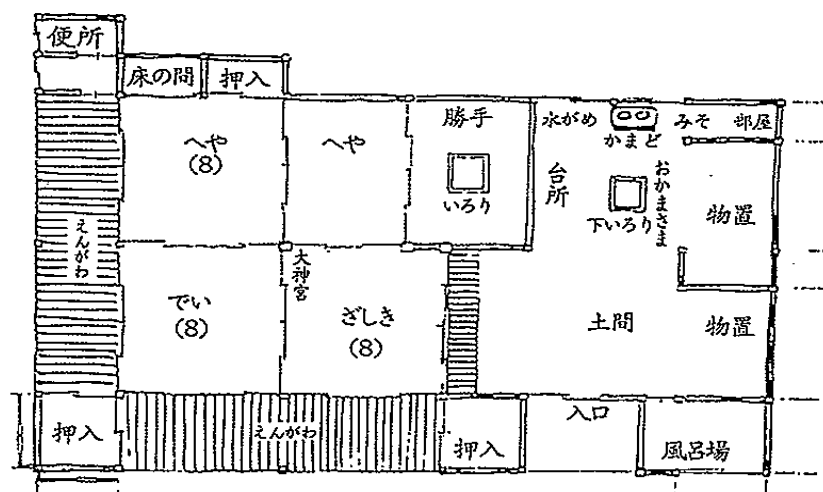
狭山の農家と屋敷 41 むかしの農家の生活用具 51

6 単元の観点別評価規準

知識・技能	・生活の道具などの時期による違いについて地域の人々からの聞き取り調査や博物館での実物資料を調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、人々の生活の様子を理解している。 ・調べたことを年表や文などにまとめ、人々の生活の様子は、時間や経過に伴い、移り変わってきたことを理解している。
思考・判断・表現	・昔の道具や写真などの資料から学習問題を見いだして追究し、人々の生活の変化や人々の願いについて考え、適切に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	・生活の道具の移り変わりについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

(1) 狭山の農家

A detailed model of a traditional Japanese village scene, likely from the Edo period. The scene features several thatched-roof buildings, a central courtyard with a path, and a small figure of a person. The model is displayed in a museum setting with glass walls.



昭和のはじめころの家の中

(2) 昔の家の中の様子

【囲炉裏】 家の中の床の一部分四角く取り除いて、灰をしいて、まきや炭をもやしました。囲炉裏は食べ物をにたりやいたりするためだけではなく、部屋の中をあたためます。また煙に含まれるススにより、屋根の材料のカヤやワラを長持ちさせる効果もありました。

つづら

柳行李 衣類や身の回りの品々を入れておいたり運搬するのに用いた長方形の籠の一種

硯箱

蠅帳 はいちよう 梅雨時から夏にかけて、風通しをよくして食物の腐敗を防ぎ、かつ蠅除けとする道具。

ねずみいらす
筆筒

ねずみが入らないように作ってある茶筆筒



ごとき 五徳

囲炉裏や火鉢の中の灰の中に据え、鉄瓶、薬缶、釜などをのせる道具

薬研 主に漢方の薬種を細粉するのにつかわれる。

箱膳 食事をするときに使いました。フタを裏返すとお膳になります。箱の中には一人分のお碗やお箸が入っていて、各自の箱膳がありました。(江戸～昭和初期)膳の一種で使用時に蓋を裏返しにして箱の上に置いて使う。箱の中に一人分のお碗、箸、皿などを収納した。



革製トランク

御膳(折りたたみ式)

蓄音機

レコードを聴く道具でハンドルを回してゼンマイを巻くとレコードが回ります。

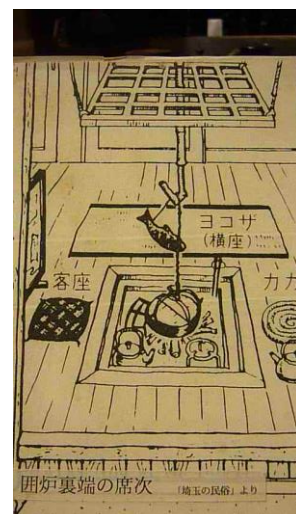


火鉢 炭を利用した暖房器具。中に灰を入れ、炭火を入れて使いました。形は丸いものだけではなく、長火鉢や角火鉢といった形のものもある。



行灯

部屋の照明器具で、江戸時代に広まった。木の枠に和紙を貼り、風邪で火が消えないように作られています。中に油を入れた皿を置いて、灯りをとましたが、今の照明と比べると、とても暗いものであった。使われた油は主に菜種油や魚油(おもにイワシの油)を使用していた。





かまど様(荒神様)



かまど

洗濯板とタライ

洗濯板は明治時代に外国から入ってきたもので洗濯機が登場するまで使われた。左手で洗濯物をおさえ、右手で洗いたい部分をつかんで、ごしごしこすりつけるようにして洗う。

七輪

煮炊きに使う移動式の小形の炉で江戸時代、屋根瓦を焼く職人によってつくられたのが始まり。内側の下の方にすのこが入っており、その下部に空気孔が切ってある。燃料の炭をすのこの上に入れ、空気孔の開閉具合で火力を調整する。七輪の名は、七里分というわずかの量でご飯が炊けたからとも、炉が七厘で購入できたともいわれる。燃料は炭が多い炭の粉を丸めた炭団や練炭もある。



石臼

そば、大豆、小麦、玄米などをすりつぶして粉にする道具。上の石の穴に粉にする大豆などを少しずつ入れて上の石だけゆっくりと回すと上の石と下の石の間から粉となって出てくる。



杵と臼

引用参考 「民具の事典」河出書房 2017

身の回りの古い道具

小学校	年 組	名前
-----	-----	----

◇何に使う道具かな？

博物館の「昔の暮らし」の展示物を見て、A～D の道具の名前を記入してみよう。
展示してある実際の道具を見て確認をしよう。

A ご飯を食べる時に使う道具	箱膳	おひつ入れ	てつびん
B 洗濯に使う道具	洗濯板	タライ	
C 温める道具 明るくする道具	火鉢	湯たんぽ	行燈
D 音楽や情報を 聞く道具	蓄音機	ラジオ	



湯たんぽ



ちくおんき



タライとせんたくいた



火ばち



ラジオ



おひつ入れ



あんどん



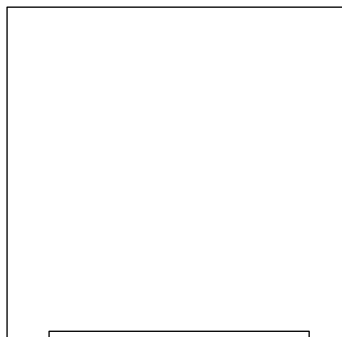
はこぜん



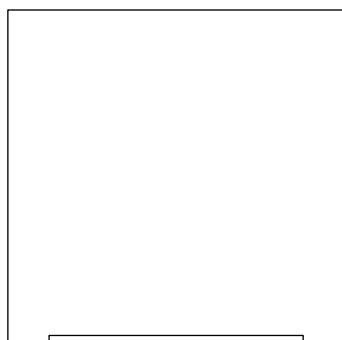
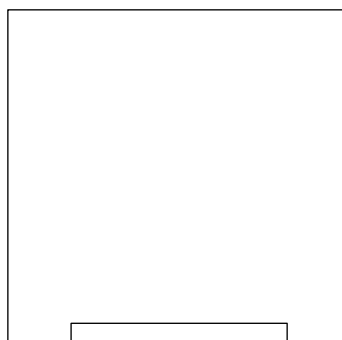
てつびん

昔の道具と今の道具を比べてみよう。同じ役わりを持つ道具でも昔と今とではどちらがうのか調べてみよう。

明治・大正



火ばち

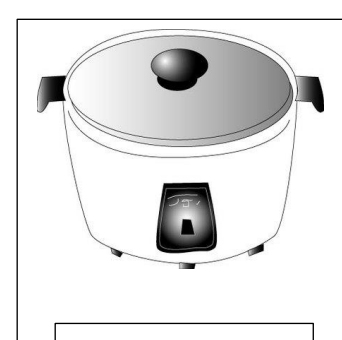


オイルランプ

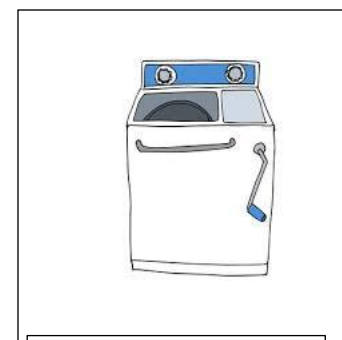
昭和



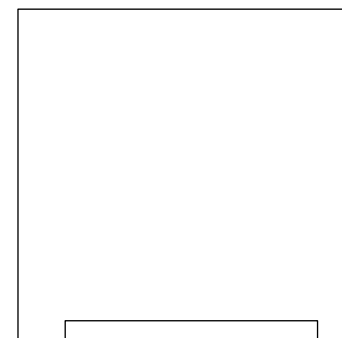
石油ストーブ



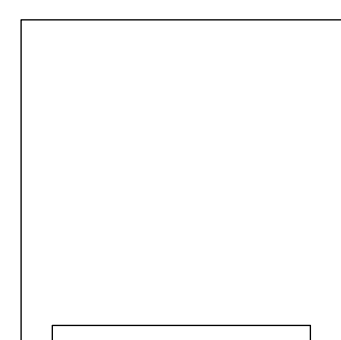
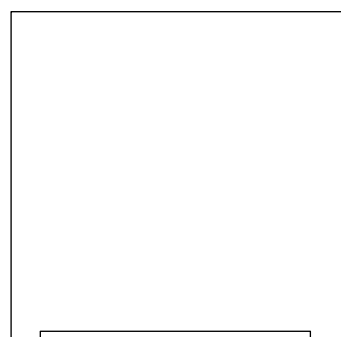
電気すいはん器



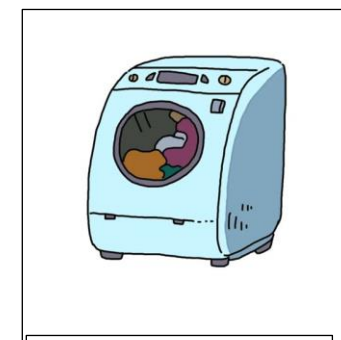
しぼり機つき洗濯機



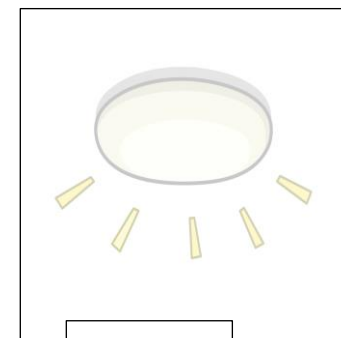
平成・令和



IC すいはん器



ドラム式せんたく機



LED 照明

イ アケボノゾウとメタセコイア プラン B

1 ねらい

アケボノゾウやメタセコイアの特徴と当時の狭山の環境について知り、その後の動物や植物の生態について興味・関心を持てるようにする。

2 教科書との関連

- ・大地のつくりと変化(小学校 理科 6 年)
- ・地層や化石から分かること(中学校理科 1 年)
- ・生物の多様性と進化(中学校理科 3 年)

3 学習内容

- (1)アケボノゾウの特徴と当時の当地の環境について知る。
- (2)メタセコイアの特徴を知り、私たちの身近にある植物と比較してみる。

4 博物館での学習

- (1)アケボノゾウの全身骨格レプリカを観察し、その時代の環境についてパネルを見て説明を聞く。
- (2)メタセコイアの化石を見て、当時生息していた植物の特徴について知る。

5 博物館の資料【常設展示】

狭山地形形成の歴史 2 生命の進化 アケボノゾウ化石産状復元模型 3
アケボノゾウの骨格標本 4 化石にみる狭山の古環境 7

6 単元の観点別評価規準

知識・技能	・アケボノゾウの生息していた狭山の様子や骨格標本の展示を見て、アケボノゾウの特徴や当時の環境について理解している。 ・メタセコイアの特徴を知り、当時の環境と、植物の特徴について理解している。
思考・判断・表現	・アケボノゾウの骨格標本やメタセコイアの写真等から学習問題を見出して当時の環境について考え、適切に表現をしている。
主体的に学習に取り組む態度	アケボノゾウが生息していた当時の環境について、その後の動物や植物の変化について主体的に学習課題を追究し、解決しようとしている。

【指導資料】

1 アケボノゾウ

アケボノゾウは今から 250 万年前から 100 万年前に日本に生息していたゾウの仲間です。体高は約 2 メートル 体重は 2 トンと推定され、アフリカゾウの半分程度の大きさで、長い牙が前に向かって外向きに生えており、日本の固有種(日本にしかない種類)です。アケボノゾウは、昭和 60 年(1985)に狭山市笹井の入間川の地層(仏子層)から全身骨格が発見され、我が国初の発見でした。その後平成 3 年(1991)に入間市ではアケボノゾウ足跡化石の大規模な発掘調査が行われました。その時は、55 個に上るゾウの足跡化石が発見されました。

★補足 アケボノゾウの調査の前にメタセコイア化石林の調査(昭和 50 年・笹井化石林調査グループ)があった。昭和 50 年～昭和 60 年に発掘された実物化石を収蔵している。



アケボノゾウ骨格肉付けした復元



アケボノゾウの足跡(うしろ足)

※仏子層

仏子層とは、200 万年前第四紀更新世の地層。100m 位ある地層で砂やジャリや火山灰、泥岩層(泥が固まってできた地層)狭山市の基底です。



アケボノゾウ化石産状復元模型
狭山市笹井入間川左岸の現場の
状況を復元したもの
昭和 60 年(1985)

3 メタセコイア

メタセコイアは、和名をアケボノスギ)とも呼ばれ、スギや ヒノキと同じグループに属する中国原産の針葉樹です。針葉樹としては珍しい落葉樹で、美しい新緑や黄葉が楽しめます。生長すると高さ最大 40m、直径 2m になる高木で、樹齢 500 年近いものが知られています。1941 年ころ、京都大学の三木茂博士が命名し、その時は世界から絶滅した太古の植物と思われていましたが、その 5 年後に 1946 年に中国四川省(現在の湖北省利川市)で現存していることが確認されました。「生きている化石植物」として一躍世界の注目を集めます。

またメタセコイアはかつて日本各地に広く分布していました。水辺を好んで生えていたため、洪水などで木が埋もれた化石の林が各地で見つかります。狭山市では、昭和 49 年(1974)の台風による洪水で入間川の砂利が洗い流され、地層が露出し、その後、多くの化石の株が発見されました。そして同調査時にアケボノゾウの臼歯の化石も発見されています。



狭山市笹井宮地公園にある
メタセコイア



直径およそ 3m 高さおよそ 1m
メタセコイア株化石



メタセコイア現世の実

さやはく学習カード

学習した日 月 日

アケボノゾウとメタセコイア

小学校 年 組 名前

1 アケボノゾウは今から何年前に生存していましたか。

2 アケボノゾウの化石は今から何年前に狭山市のどこで見つかりましたか。

3 アケボノゾウの特徴 骨格標本をよく観察してみよう

牙の大きさや長さは
どうなっているかな

大きさは、どのくらいか
な



- 3 アケボノゾウの化石が発見された地層の近くから見つかった植物の化石は何の植物ですか

- 4 メタセコイアはどんな植物で、別名は何といいますか



狭山市入間川4丁目公園にあるメタセコイア

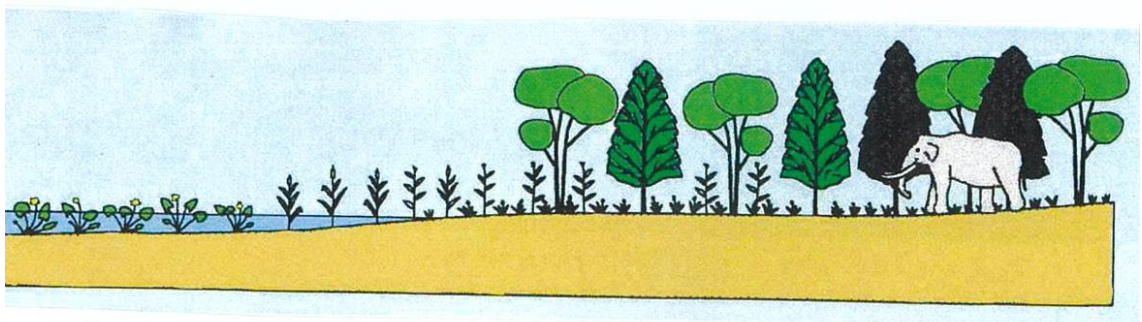


狭山市笹井宮地公園にある
紅葉したメタセコイア

- 5 アケボノゾウやメタセコイアが生息していた150万年前の狭山の環境はどんな場所だったでしょう。

同じ場所から 貝(オオバタグルミ)の化石が発見されました。
この時代の狭山の環境はどんな環境だったのか想像してみよう。

アケボノゾウのいた頃の環境



ウ 郷土の伝統・文化と先人たち

プラン G

1 ねらい

- (1) 当時の世の中の課題や人々の願いに着目し、資料で調べ、年表などにまとめる。
- (2) 地域の発展に尽くした先人の具体的な事例を捉え、先人の働きを考え、表現し、先人は様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解できるようにする。

2 副読本「わたしたちのまち さやま」の単元

地いきの発てんにつくす 清水宗徳 4年生 P79～83

3 学習内容

- (1) 地域の発展に尽くした清水宗徳の業績について知り、郷土狭山の発展や私たちの生活に影響したことについて知る。
- (2) 狭山の交通がどのように発展し、地域の人々のためになったのかを知る。
- (3) 絹織物の様子と斜子織の特徴について知る。
- (4) 養蚕の特徴と当時の産業について知る。

4 博物館での学習

- (1) 清水宗徳の生い立ちと業績についての講義(学芸員の解説と動画資料の活用)
- (2) 常設展示での見学(学芸員による解説と実際の展示物を見ての学習活動)

- ① 馬車鉄道の展示を見て、今の鉄道とどこが違うのか。当時の狭山の発展にどのような影響をもたらしたのかを学習する。

江戸時代から明治時代にかけて発展した養蚕と織物(斜子織)の特徴について展示を見て確かめる。

養蚕の様子の模型を見て、どのようにして織物になるのかを知る。

5 博物館の資料【常設展示】

養蚕の仕事 47 狭山の斜子織 49 狭山の馬車鉄道 60

6 小単元の観点別評価規準

知識・技能	・ 当時の世の中の課題や人々の願いなどについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を理解している。 ・ 調べたことを年表や文などにまとめ、地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。
思考・判断・表現	・ 当時の世の中の課題や人々の願いに着目して、問いを見いだし、地域の発展に尽くした先人の具体的事例について考え表現している。 ・ 先人の働きと地域の発展や人々の生活の向上を関連付けて考え、適切に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	・ 県内の先人の働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

7 指導資料 地域の発展に尽くした人 清水宗徳

・天保14年(1844)12月11日武州高麗郡上広瀬村、現在の狭山市上広瀬 広瀬神社の神宮を務める清水家(名主)の長男として生まれる。

当時は、幕末期、明治維新(1868)の24年前であった。

・父の跡を継いで20歳で名主となり、明治になってからは上広瀬村の戸長兼民事取締役を務める。

※名主とは、村民の税金を納める村長的相談



① 教育事業

明治5年(1872)に学制が發布される以前、狭山市内で最初の小学校「広瀬郷学校」を設立。また広瀬神社の境内に「幼育学校」を設立する。その後、学制の發布によって正式に学校制度が出来た後も、私財を投じて協力を惜しなかった。

② 入間川の渡船

明治8年(1875)に、現在の本富士見橋付近に上広瀬と入間川を結ぶ渡船を開設し、入間川兩岸の交通の便箋を図った。この渡船は、本富士見橋が架けられた大正9年(1920)まで続いた。



『狭山市史 近代資料編』p182



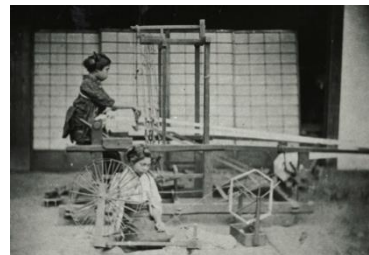
『狭山市史 近代資料編』 p373

③ 養蚕研究

養蚕は農家の副業として盛んだった。明治3年(1870)には村内の荒地を使い、桑畑を作った。また県外の養蚕地や製糸場を見学し、明治8年(1875)に自ら養蚕室を建設し養蚕の研究を行った。また蚕糸業組合を結成して、見習生を募集して養蚕を本格的に地元に根づかせた。

④ 暢業社 ちょうぎょうしゃ

明治10年(1877)埼玉県内で初の器械製糸工場「暢業社」を設立する。場所は、広瀬橋のたもとで、現ヤオコーの近くの本富士見橋側である。製糸器を30台、蒸気窯を設置し、動力には水車を用いた。また富岡製糸場に工女を留学させた。工場は県令や政府から絶賛され、生糸も国内屈指の優等品として高く評価され、フランスやイタリアなどに輸出された。創業からわずか半年で314円の利益を出す。翌年の台風で入間川が氾濫し、大打撃を受けた。



『狭山市史 近代資料編』p321

⑤ 広瀬斜子織 ひろせななこおり

斜子織は広瀬地区で生産されていたが「川越斜子」として売られていた。品質の向上を目的に同業組合「広瀬組」を設立。品質検査に合格した反物に「広瀬魚子の商標」を与えた。

明治26年(1893)シカゴで開かれたコロンビア世界博覧会で名誉賞状を獲得し、世界に認められたことにより最高級品の地位を確立し、宮内庁御用品となった。しかし明治後期に羽二重が登場し工場生産で同品が大量生産されると下火になっていった。

⑥ 川越鉄道

前述のように明治時代の狭山は生糸・織物・製茶などの豊富な産業があった。川越は物流の中心だったが、川越で輸送する手段は馬車や荷車だった。宗徳は川越駅と国分寺駅を結び甲武鉄道に接続する鉄道を企画し、地元の有力者を説得して株主にした。また国から「川越鉄道布設免許願」を取得し、川越鉄道株式会社を設立。計画から5年後に全線開通し、入間川駅、入曽駅、所沢駅、小川駅の各駅も同時に開業。開通後、入間川町は急速に発展していった。

業績⑧ 政治活動・砂利の掘削・北海道開拓

第1回埼玉県議会選挙で当選、10年間県議会議員を務める。明治23年(1890)第1回衆議院選挙に立憲自由党から出馬し当選、衆議院議員となる。同年に地租の徴収期限を大幅に緩和する改正案を立案し、これを通す。農民のことを考える政治家であったが、国政を2期で辞職した。所属していた自由党の勢力基盤を拡大し、ライバルの進歩党から大変に恐れられ、「爆裂弾」と呼ばれた。

・東京、横浜の埋め立て地発展を見越して、入間川の砂利掘削事業を開始。入間川砂利合資会社を設立。川越鉄道・甲武鉄道を利用して東京方面に砂利を搬出、砂利の掘削により入間川の洪水被害も減少する一石二鳥の事業であった。

北海道開拓 北海道の原野開拓に次男の一三を参加させ、現在の奈井江町に入植。北海道空知郡奈井江町には「清水ヶ原」という地名も残り、一面の田んぼとした。

当時は国内の貿易業者の発達が不十分で、外国の会社に利益を持って行かれていた。「同伸社」という生糸貿易会社を横浜に創業。流通面でも改善を行おうとした。

★他にも鉄工所や搾乳所など様々な事業を行っていた。

明治42年(1909)8月18日、脳溢血のため死去。67歳であった。墓は生まれ故郷である広瀬浅間神社隣の墓地に作られ、入間馬車鉄道の創設者としての功績を讃えて墓石の下に馬車鉄道の線路が敷かれている。



地いきの発てんにつくした人



考えてみよう。

Q だれのお墓だろう。

Q 代議士とは何だろう。

Q なぜお墓の下に2本のレールがあるのかな。



博物館で見てみよう 1



今の鉄道とどこが
ちがうのか考えて
みよう。

博物館で見てみよう 2

きぬおりもの
絹織物のもようと
お
織り機をつかって
いるようすを見て
みよう。



博物館で見てみよう 3

ようさん
養蚕の様子をみて
みよう。



生い立ちをまとめてみよう。

江戸時代 天保14年12月11日 ()で生まれる。

明治 年 (才) で名主(村長)になる。

明治 3 年 村人に()を教える。

明治 4 年 さやま地域で()を開く。
水富小学校は、さやまで一番歴史がある学校です。

明治 9 年 きかいせい糸工場を作る。

高級な絹織物きぬおりもののひとつで縦糸と横糸の太さが違うことから
折り目がななめにならぶように見える。
(織り)

明治 23 年 こっかいぎいん
国会議員になる。

明治 25 年 かみひろせ
上広瀬の人たちといっしょに()のはってんにつくす。



地いきの発てんにつくした人

清水 宗徳 (しみず そうとく)

人々の暮らしを豊かにするために色々なことをしたんだね。



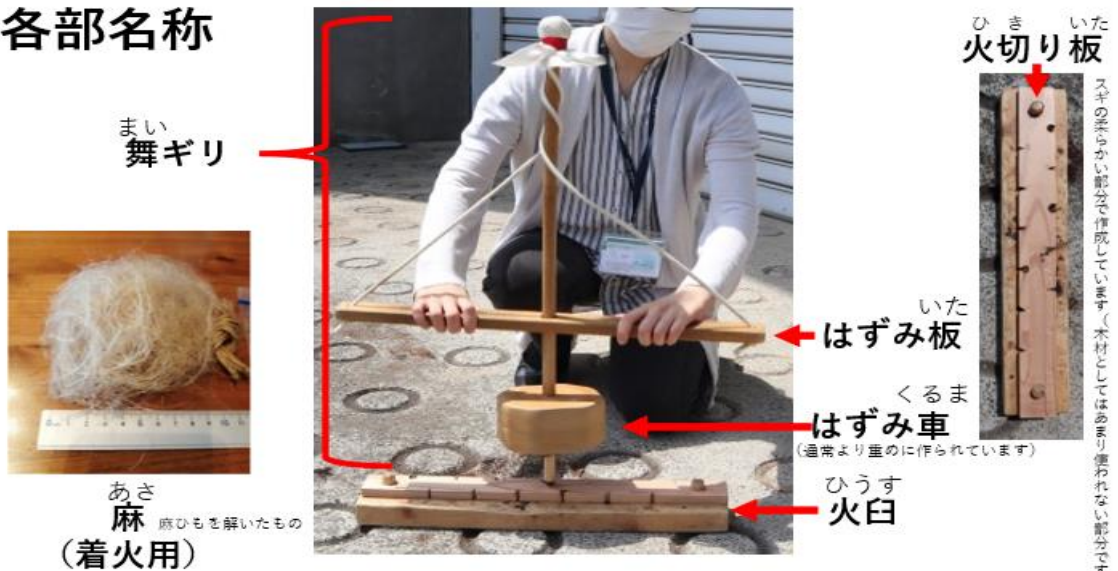
(6) 出前講座

縄文時代の生活

火起こし体験

埼玉県埋蔵文化財調査事業団

火起こしキット（舞ギリ式） 各部名称



火起こしの手順

※火臼抑え係、舞ギリを回す係、火着け係（軍手着用）に分かれて作業を行います。
髪の長い人はゴムやヘアバンドでまとめておきましょう。

1. 【火臼の準備】

火臼に火きり板をセットします。
浅く穴が出来ているものを使うと
安定して回し易いです。



2. 【舞ギリの準備】

舞ギリの先を、火臼の穴に垂直に立て、
はずみ板を手で2～3回回転させて
ヒモをねじります。



6. 【火を着ける（火着け係）】
麻から白い煙が出たら丸めて持って降り下ろす方向に腕をぐるぐる振り回し、風にさらします。



7. 【火を消す（火着け係）】
火が着いたら素早く手をはなし、地面に落とします。火の着いた麻はトングで拾って水入りバケツに入れて消化します。



3. 【火種を作る（回し係と抑え係）】
はずみ板の両端に手を掛け、かるく押し下げるとハズミ車の反動ではずみ板が上がるので、連続して回転し始めたら徐々に力を加えて速く回していきます。しばらく回すと煙が出はじめます。

※煙が出始めてから30秒そのまま続けましょう！



4. 【火種を移す（火着け係）】
30秒数えたら、煙の出ている茶色い粉（火種）を素早く着火用麻に乗せ換える。麻に包みながら息を吹きかけ、白い煙が出るまで火種を大きくします。



摩擦式火起こしの種類



弓ギリ式の最古の記録は江戸時代の伊勢神宮などにあるのみで、縄文時代まではさかのぼれません。

縄文時代後期の遺跡から、キリモミ式と弓ギリ式の道具が発見されています。

鳥取県教育庁埋蔵文化財調査センター
古代探検マニュアル vol.3「火起こしに挑戦」より

他にも火の起こし方（発火法）はたくさんあるよ！どんな方法か調べてみよう。

ヒント：摩擦法・打撃法・圧縮法・光学的方法・科学的方法など

火起こし（調理火）の歴史紹介

100万年前	3,000年前	1,300年前	200年前	100年前	今
旧石器時代	縄文時代	奈良時代	江戸時代 (終わりころ)	明治 大正	平成 令和
何かしらの火	摩擦式着火 炉	かまど 火打石	七輪 マッチ	ガスコンロ ライター	IHクッキングヒーター
					
ホモ・エレクトス (ヒトの祖先)					

「童句のつくりかた」

狭山市発祥の童句は、誰でもやさしく作ることができます。自分が年少少女の日の心に立ち返って、作る俳句が童句です。これから三つの約束を守ってさっそく童句を作ってみましょう。

①五・七・五 音でつくりましょう

俳句のルールと同じです。五・七・五リズムでつくります。

「童

5

7

5



雪だるま

てつだう父も

声あわす

土家由岐雄

『童句集ぼくの四季』より

②季語を入れましょう

俳句と同じく童句にも季節を表す「季語」を一つ入れます。こちらの童句は「雪だるま」が冬の季語になります。俳句と同じように春夏秋冬の、どの季節であるかが判るようにつくりまます。季語を調べるには「歳時記」やインターネットを利用してみましょう。

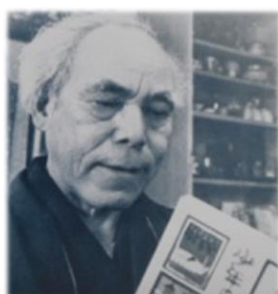
狭山市立博物館

③子どものころの懐かしい気持ちになってつくる

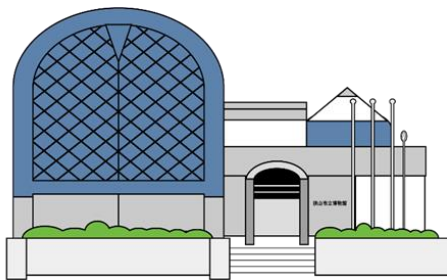
日常生活の中で体験したこと、感じたこと、遊んだこと、学んだこと、その時の感情などを思い出しながら童句で表現してみましょう。

◆童句をつくった人・土家 由岐雄さん

明治 37 年東京都文京区小石川生まれ。童話『かわいそうなぞう』（昭和 26 年）で知られる児童文学作家。昭和 46 年より狭山市入間川に転居。多くの児童文学作品を発表する一方で児童を対象にした童句を創始し、複数の作品集を発表。平成 11 年 7 月 3 日逝去。狭山中央通り・七夕通り商店街の街路灯に、「童句百選」が掛けられています。智光山公園には土家由岐雄さんの句が刻まれた童句碑が建てられています。



博物館で働く人 学芸員とは?



学芸員は、歴史博物館・郷土博物館・自然博物館・資料館・美術館・動物園・水族館・植物園などの各種博物館で勤務する専門職で、キュレーターとも呼ばれています。基本的には考古学、歴史学、地理学、生物学、鉱物学、美術、郷土史学など、自分が知識を身につけた分野を専門とした職業です。狭山市立博物館でも数名の学芸員が専門的な知識や経験を活かして働いています。

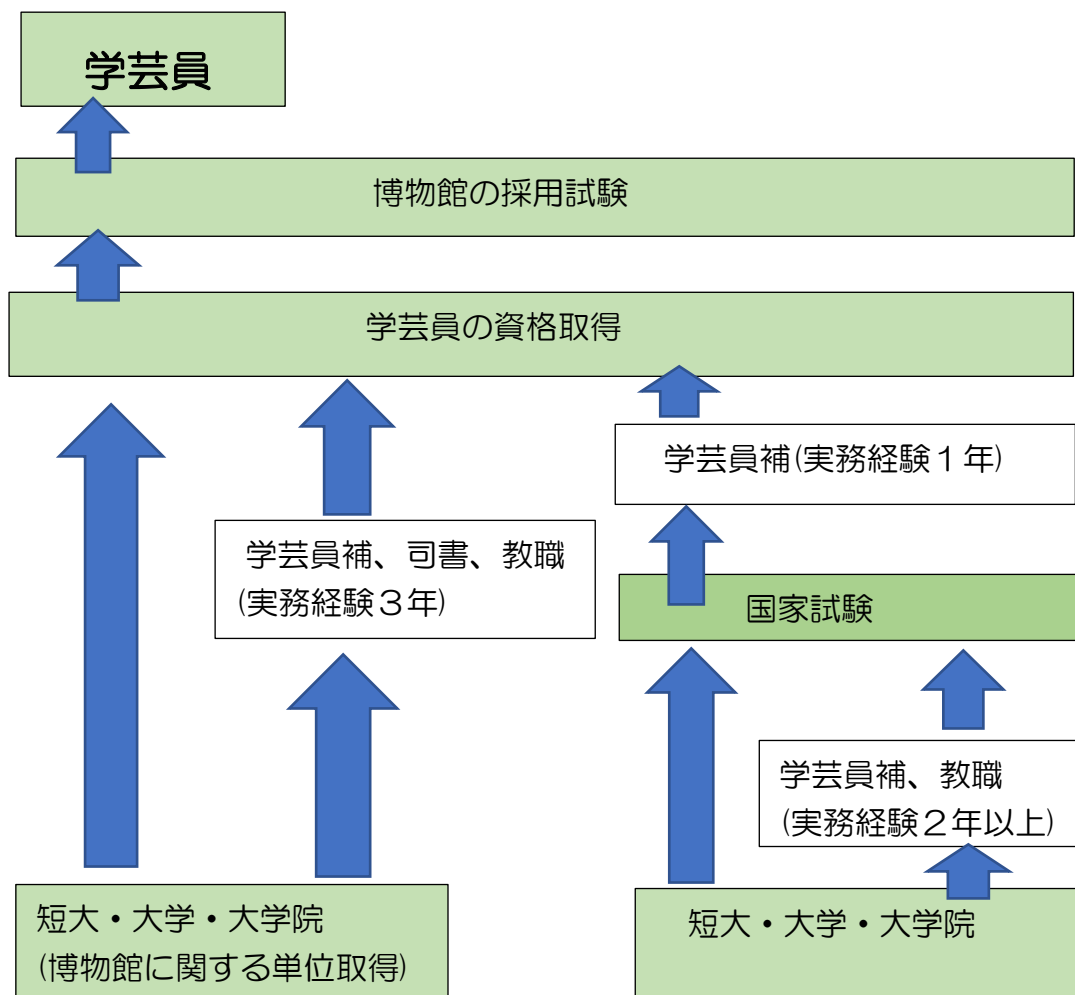
Q1 学芸員の具体的な仕事内容を教えてください

学芸員の仕事は大きくわけて5つあります。

- 【資料の収集】展示や調査する資料を集めます。他館や個人所蔵のものを借りる場合もあります。
- 【資料の整理・保存】収集してきた資料の図録や目録を作ったり、管理のための整理をします。また必要であれば、保存や修復・修理をしたりします。
- 【展示の準備】資料を利用者にわかりやすいように展示します。説明パネルや写真を作ったり、どんなコンセプトで資料を展示するかなどの企画を行います。
- 【資料の公開・展示】展示されている資料の解説を行います。展示に関する説明や学習会、講演なども行います。
- 【教育普及】子供から大人まで幅広い年齢層を対象とした講座を実施します。社会科見学や学芸員が外に出向いて行って行う出前講座などがあります。

Q2 学芸員の資格を取得する方法を教えてください

学芸員は国家資格で、大学において指定の科目を履修し単位を取得する方法で資格を取得する必要があります。



Q 学芸員の就職先はどんなところがありますか

学芸員の資格を取得したら、各博物館や自治体の採用試験を受けます。ただし、資格取得者の数に対して博物館の採用枠が大幅に少ないということが現実です。

博物館・科学館・美術館・文化振興財団など

一例として展覧会の運営、資料の作成、展覧会の入館受付や関連グッズの販売補佐などを担当します。

役所や教育委員会、研究所など

他の文化施設や企業、市民との連携、専門分野に関する調査研究や整理、教育普及活動などを担当します。

狭山市立博物館 学芸員の仕事の様子



企画のキャプションや展示構成、打ち合わせ



社会科見学の展示解説



企画展の展示準備



展示品の片付けと整理



学芸員実習生の指導



野外講座(化石探し隊)でのガイド



各講座での司会進行



収蔵庫の整理

Q 学芸員になるためにはどんな勉強をしていったらよいでしょうか

普段から学校で学ぶ各教科の学習をしっかりと行い基礎的な学力を身につけてください。またできるだけ多くの博物館や美術館、史跡、それらにかかわるイベントなどに足を運んで視野を広げておきましょう。

◆職場体験では、学芸員の仕事の見学や実際に学芸員の方々に質問をして仕事の内容を理解します。また学芸員の方々が、博物館の展示物の解説を中学生の皆さんにします。そこで学んだことを活かして生徒の皆さんは常設展の展示解説を体験や博物館常設展示の内容から小学生向けのクイズ問題を作成します。

[参考]

13歳のハローワーク
学研キッズネット

村上 龍 幻冬舎 2003 年
<https://kids.gakken.co.jp/shinro/shigoto/work034/>

注

-
- i 学習指導要領(平成 29 年告示) P15 文部科学省 2017
ii 小学校学習指導要領解説総則編(平成 29 年告示) P91 文部科学省 2017

参考文献(引用文献)

- ・学習指導要領(平成 29 年 3 月 告示) 文部科学省
- ・小学校学習指導要領解説総則編(平成 29 年告示) 平成 29 年(2017 年) 文部科学省
- ・小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説 社会編 文部科学省
- ・埼玉県教育課程編成要領 小学校 中学校 埼玉県教育委員会
- ・「研究報告書第 411 号」学校と社会教育施設の連携に関する調査研究
平成 30 年～令和元年度 調査研究 埼玉県立総合教育センター
- ・博物館活用ガイドブック 令和 2 年(2020) 埼玉県教育局市町村支援部文化資源課
- ・狭山市史 通史編Ⅱ 狭山市
- ・狭山市史 近代資料 狭山市
- ・民具の事典 平成 29 年(2017) 河出書房
- ・古代探検マニュアル 火起こし挑戦 島根県教育局埋蔵文化財センター
- ・特別展 武蔵野鉄道開通 図録 平成 27 年(2015) 飯能市郷土館
- ・わが郷の先覚者 清水宗徳展 図録 平成 8 年(1996)
- ・13 歳のハローワーク 村上 龍 平成 15 年(2003) 幻冬舎

令和 5 年度 学校教育のための博物館活用の手引き

令和 5 年(2023)8 月 1 日発行

編集・発行 狭山市立博物館

(指定管理者 アクティオ・東急コミュニティー共同事業体)

〒350-1324 埼玉県狭山市稲荷 1 丁目 23 番地 1